

MO-PRO 5150

**MO&カードリーダー／ライターユニット
ユーザーズマニュアル**

目 次

取扱い上のご注意	2
コニカミノルタソフトウェア使用権許諾契約	6
ごあいさつ	8
ご注意	8
付属品の確認	9
第 1 章 製品のご紹介	10
1 . 1 製品の特徴	10
1 . 2 使用環境	12
1 . 3 各部の名称と機能	14
1 . 4 使用可能なメディアについて	17
1 . 5 接続の前に	19
第 2 章 Windows® 環境での使用方法	21
2 . 1 接続とインストール	21
2 . 1 . 1 Windows XP の場合	21
2 . 1 . 2 Windows Me の場合	28
2 . 1 . 3 Windows 98 の場合	34
2 . 1 . 4 Windows 2000 の場合	39
2 . 2 メディアのセットとアクセスについて	50
2 . 3 フォーマットについて	52
2 . 3 . 1 MO メディアのフォーマット	52
2 . 3 . 2 メモリーカードのフォーマット	53
2 . 4 メディアの取り出し方法について	54
2 . 4 . 1 MO メディアの取り出し方法	54
2 . 4 . 2 メモリーカードの取り出し方法	55
2 . 5 本製品を取り外す場合は	57
2 . 6 補足事項	59
第 3 章 Macintosh 環境での使用方法	62
3 . 1 接続とインストール	62
3 . 1 . 1 ドライバのインストール	62
3 . 1 . 2 本製品の接続	64
3 . 2 メディアのセットとアクセスについて	66
3 . 3 メディアのフォーマットについて	67
3 . 4 メディアの取り出しについて	68
3 . 5 補足事項	69
第 4 章 スタンドアロンモード	70
4 . 1 MO メディアのフォーマット	70
4 . 2 メモリーカードから MO メディアヘデータのコピー	73
第 5 章 補足事項	76
5 . 1 トラブルシューティング	76
5 . 1 . 1 パソコン接続時のトラブル	76
5 . 1 . 2 スタンドアロンモードでのトラブル	80
5 . 2 保守とその他の注意事項	82
ハードウェア仕様	83

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



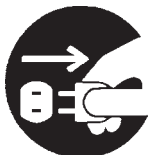
この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

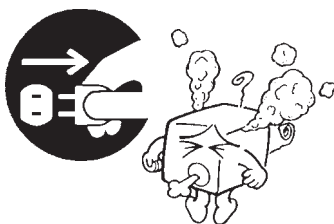


塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

万一、異常が発生したとき。

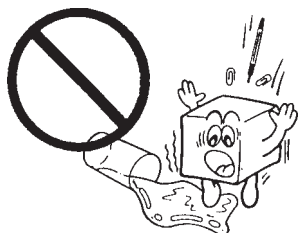
本体から異臭や煙が出た時は、ただちにACアダプタをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

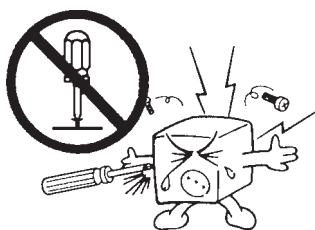
本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



分解しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



正しい電源で

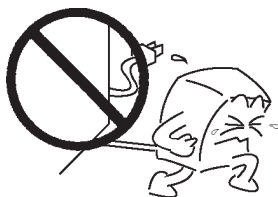
使用してください。

AC アダプタは必ず本製品付属のものを使用し、AC100V のコンセントに接続してください。



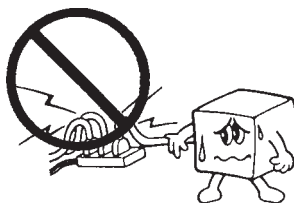
AC アダプタのコードを大切に。

ACアダプタのコードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電 / 火災の原因となります。



⚠ 注意

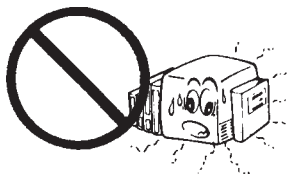
ACアダプタはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



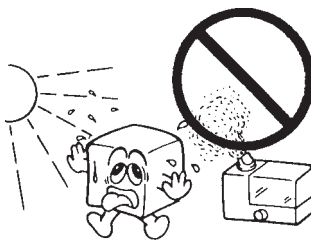
ACアダプタのコードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



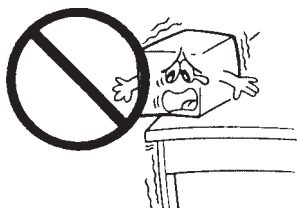
通風孔はふさがないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



高温・多湿の場所、ほこりの多い場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

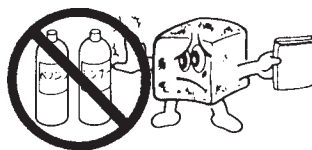


本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。

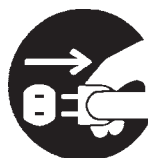


⚠ 注意

本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。（本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。）揮発性の薬品（ベンジン・シンナーなど）を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を長期間使用しない場合は、AC アダプタをコンセントから抜いておいてください。



本製品の動作中およびコピー中にメディアの抜き差し、電源の ON/OFF はしないで下さい。



その他の禁止事項

静電対策をしてください。

静電気により本製品に損傷を与えることがあります。本製品に対応メディアをセットする際は、パソコン本体等の金属が露出している部分に触れるなどして、体内の静電気を放電してからお取り扱いください。



その他の強制事項

ご使用の前に必ずお読みください。

コニカミノルタソフトウェア使用権許諾契約

本契約は弊社とお客様との間で締結されるものです。本契約書をよくお読みの上、本契約書にご同意いただいた場合には、お手数ですが当社ホームページ（URL：<http://konicaminolta.jp/opt/>）よりユーザー登録いただきますようお願いいたします。本契約に関して疑義がある場合、もしくは弊社にご連絡を取りたい場合は、以下にご連絡ください。

MOドライブサポートセンター

〒191-0003 東京都日野市日野台 5-22-17

TEL. 042-587-0733 FAX. 042-587-2184

（土、日、祝祭日を除く 月～金曜日AM 10:00 ～ 17:00）

1．使用許諾

- (1) 弊社は、添付ソフトウェアプログラム（以下「本ソフトウェア」といいます）を、本ソフトウェアとともに提供されるハードウェア（本ソフトウェアがキットに添付される場合にはキットが組み合わされるハードウェア）において使用できる使用権をお客様に許諾します。
- (2) お客様は、本ソフトウェアを一時に一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。ネットワークシステムの場合は、一時に一台の端末でのみ使用することができます。

2．著作権

- (1) お客様は本ソフトウェアをその他の著作物と同様に取り扱っていただく必要があります。ただし、バックアップ目的にのみ本ソフトウェアを複製すること、またはオリジナルを保存用のみに保持して本ソフトウェアをハードディスクに組み込むことができます。
- (2) お客様は、本ソフトウェアとともに提供された取扱説明書等の印刷物を複製しないものとします。

3．規制

- (1) お客様は、本ソフトウェアを貸与したり、リースに供することはできないものとします。ただし、お客様は本ソフトウェアとその関連資料の複製物を保有していないこと、および受領者が本契約の条件に合意していることを前提に、本ソフトウェアおよびその関連印刷物を第三者に譲渡することができます。その場合、お客様は本ソフトウェアとともに提供されたハードウェアを同時に当該第三者に譲渡するものとします。

- (2) お客様は、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルをしてはならないものとします。
- (3) お客様は、本ソフトウェアのコピーを分配したり、ネットワークシステム内の1台の端末から他へ電送してはならないものとします。

4．保証

弊社は本ソフトウェアに関して以下の保証のみを行いません。なお、この保証は日本国内のみにて有効なものとします。

- (1) お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から1年以内に弊社が本ソフトウェアの誤りの修正を行なったときは、弊社はその修正内容をお客様に提供するものとします。ただし、弊社がその裁量により情報の提供を決定した場合に限りします。
- (2) 本ソフトウェアの記録媒体に、本ソフトウェアの使用に支障を来すような物理的欠陥があった場合には、お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から30日以内にご連絡をいただければ、弊社は当該記録媒体を無償で交換（ただし、弊社が当該欠陥を弊社の責任によるものと認めた場合に限りします。）するものとします。これをもって記録媒体に関して弊社が行なう唯一の保証とします。

5．免責

- (1) 弊社は、本ソフトウェアを使用した結果に関してもいかなる保証も行いません。本ソフトウェアに関して発生する問題は、お客様の責任及び費用負担によって処理されるものとします。
- (2) 弊社は、本ソフトウェアおよびその関連印刷物および本ソフトウェアとともに提供されたハードウェアに関して、商業的に有用であること、特定の目的に適合すること等に関し、明示的にも黙示的にも一切の保証をしないものとします。
- (3) いかなる場合であっても弊社は、お客様が本ソフトウェアを使用することにより生じる商業的利益の逸失、商業的支障その他のいかなる損害について、たとえかかる損害が生じる可能性があることにつき通知を受けていた場合であっても一切の責任を負わないものとします。

6．その他

- (1) 弊社は、ユーザー登録をいただけないお客様に対しては、バージョンアップサービスその他のサポートサービスを行なう義務を負いません。
- (2) 本契約に関する紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定／接続方法、機能／仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、当社MOドライブサポートセンターまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社MOドライブサポートセンターまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用して保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様 お客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

VCCI に基づく表示

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

ユーザーズマニュアルに従って正しい取り扱いをして下さい。

用語について

本マニュアルではPCMCIA TYPE スロットに装着可能なメモリーカード（アダプタを使用するカードを含む）を総称して「メモリーカード」と表記しております。本文中の説明で使用する「メモリーカード」には、その他のタイプのものはありません。

付属品の確認

MO&カードリーダー / ライターユニット	1 台
AC アダプタ	1 個
USB ケーブル (USB2.0 High Speed 対応)	1 本
横置き用ゴム足	1 シート
ソフトウェア CD-ROM	1 枚
MO イジェクトツール	1 個
MO&カードリーダー / ライターユニット・ユーザーズマニュアル ..	本書
補足説明書	2 枚
保証書	1 枚

本製品は精密電子機器です。輸送時には、必ず付属の梱包材をご使用ください。

* MS®、Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。
Macintosh、Mac OSは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

第 1 章

製品のご紹介

1 . 1 製品の特徴

本製品は USB 2.0 High-Speed に対応した MO& メモリーカードリーダー / ライターです。640MB までの MO メディアと、PCMCIA Type スロットに装着可能なメモリーカードを使用することができます。

本製品の特徴

USB 2.0 の高速転送に対応

パソコンとの接続時には、ドライブ本来の性能をフルに引き出す USB 2.0 High-Speed 転送に対応していますのでセットしたメディアからの高速転送が可能です。もちろん従来の USB 1.1 でも接続可能です。

また、Windows、Macintosh 両対応ですので非常に幅広いパソコン環境でお使いいただけます。

1 台 2 役

本製品 1 台で 640MB までの MO メディアと PCMCIA Type スロットに装着可能なメモリーカードを使用可能です。また、市販のカードアダプタを使用すれば SmartMedia や SD メモリーカードなどデジタルカメラの記録メディアを使用することも可能です。(「1 . 4 使用可能なメディア」参照)

パソコンなしでコピー & MO のフォーマットが可能

パソコンにつながずに MO メディフォーマット()やメモリーカードから MO メディアへのコピーが可能です。

パソコンに接続せずに MO メディアのフォーマットを行った場合、フォーマット形式は全て FAT16 となります。Mac OS X 10.1.5 までの Mac OS 環境でご使用の場合には、540MB 以下のメディアをご使用ください。640MB メディアはアクセスできません。

Mac OS X 10.2 以降の場合は 640MB MO メディアでも使用可能です。



重要なご注意

- ・本製品をバスパワーで使用することはできません。必ず付属の AC アダプタを接続してください。
 - ・本製品を USB 2.0 の High-Speed で使用される場合、パソコン本体への接続は必ず USB 2.0 拡張ポートへ接続してください。標準搭載されている USB 1.1 ポートでの使用も可能ですが、その場合の最大転送速度は従来と同じ Full-Speed (12Mbps) となります。
 - ・本製品を USB 2.0 ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0 対応ケーブルを使用してください。USB 2.0 に対応していないケーブルで USB 2.0 ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
 - ・USB 1.1 ポートへ接続して使用する際にもなるべく USB 2.0 対応ケーブルをご使用ください。
-

1 . 2 使用環境

本製品を USB 2.0/1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のような条件を満たしていなければなりません。

対応パソコンについて

本製品を USB 2.0/1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のパソコン本体に接続可能です。全て USB ポートを搭載している機種に限定されます。また、High-Speed での転送を実現するためにはパソコン側のインターフェースが USB 2.0 に対応していなければなりません。

USB 1.1 ポートに接続する場合

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	eMac
	iMac
	Power Mac G4
	Power Macintosh G3 (Blue & White)
	iBook
	PowerBook G4
	PowerBook (FireWire)
	PowerBook G3 (BronzeKeyboard)

USB 2.0 ポートに接続する場合

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ

対応 OS について

本製品を USB 2.0/1.1 インターフェースに接続する場合は、以下の OS をご使用ください。全て日本語 OS のみに限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

1

USB 1.1 ポートに接続する場合

マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition/Professional

Windows Me

Windows 98 (Second Edition 含む)

Windows 2000 Professional

アップルコンピューター社

Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2 まで

Mac OS X 10.1.3以降

USB 2.0 ポートに接続する場合

マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition/Professional

Windows Me

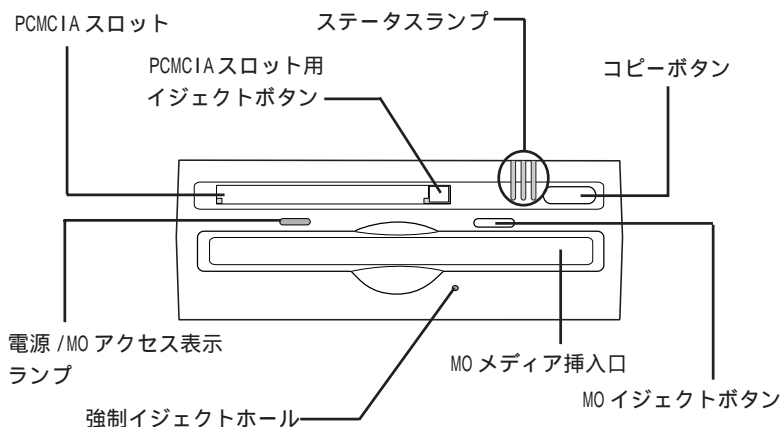
Windows 98 (Second Edition 含む)

Windows 2000 Professional

1 . 3 各部の名称と機能

1

本製品前面



PCMCIA スロット

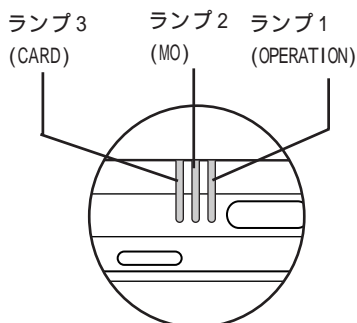
CompactFlash カードや microdrive、ハードディスクカードなどをセットするスロットです。アダプタが必要なカードの場合には、アダプタに装着してセットします。(「1 . 4 使用可能なメディアについて」をご参照ください)

PCMCIA スロット用イジェクトボタン

PCMCIA スロットにセットされたカードを取り出すためのボタンです。カードがセットされた状態でこのボタンが飛び出します。カードを取り出す際はボタンを押します。

ステータスランプ (右から) 1.2.3

電源の状態・メディアのアクセス状態・セット状態を表示します。詳細は次ページをご参照ください。



(ステータスランプ続き)

パソコン接続時

ステータスランプ1(OPERATION)

電源投入後、パソコンへ接続すると緑色に点灯します。PCMCIA スロットにセットしたメモリーカードのデータアクセス時はオレンジ色に点滅します。

ステータスランプ2,3(MO, CARD)

パソコン接続時は消灯しています。

スタンドアロンモード時

ステータスランプ1(OPERATION)

- ・MO フォーマットモードでは電源がONになるとオレンジ色に点灯します。フォーマット実行時にはオレンジ色に点滅します。フォーマットが正常に終了すると消灯します。フォーマットエラー時には赤色に点灯します。
- ・データコピーモードでは電源がONの状態では消灯しています。コピー中はオレンジ色に点滅します。コピーが正常に終了すると緑色に点灯します。コピーに失敗したときは赤色に点灯します。

ステータスランプ2(MO)

- ・MO メディアがセットされると赤色に点灯します。フォーマット時・コピー時共にメディアに問題がある場合は赤色に点滅します。

ステータスランプ3(CARD)

- ・メモリーカードがセットされると赤色に点灯します。フォーマット時・コピー時共にメディアに問題がある場合は赤色に点滅します。

コピーボタン

スタンドアロンモードで、PCカードからMOメディアへのコピー / MOメディアのフォーマットを行う際に使用します。(「第4章 スタンドアロンモード」をご参照ください。) パソコン接続時には使用しません。

電源 / MO アクセス表示ランプ

本製品に電源がONになると緑色に点灯します。セットしたMOメディアにアクセスが行われるとオレンジ色に点滅します。

強制イジェクトホール

なんらかの原因でMOメディアが取り出せなくなったときに使用します。(第5章「5.1 トラブルシューティング」をご参照ください)

MO メディア挿入口

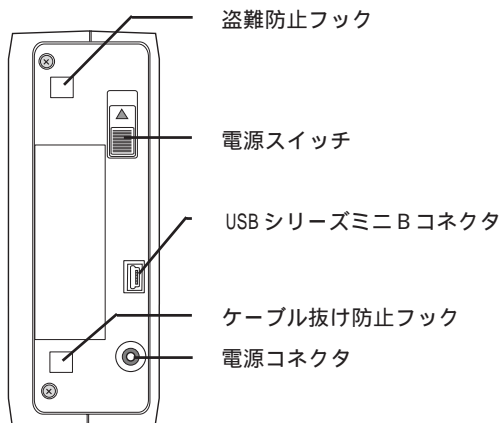
MO メディアをセットする部分です。

MO イジェクトボタン

パソコン本体のOSが起動していないときに、MOメディアを取り出したい場合に使用します。

本製品背面

1



盗難防止フック

盗難防止用にワイヤを取り付けておくことができます。

電源スイッチ

本製品の電源を ON/OFF します。

USB シリーズミニ B コネクタ

付属の USB ケーブルでパソコン本体の USB ポートと接続します。

ケーブル抜け防止フック

ACアダプタのプラグが外れないようにケーブルを引っ掛けておく部分です。

電源コネクタ

付属の AC アダプタのプラグを接続します。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続します。

1.4 使用可能なメディアについて

PCMCIA スロットにセット可能なメディア

本製品で使用可能なメモリーカードは以下の通りです。

1.8 インチハードディスクカード
FLASH-ATA カード

以下のカードを使用する場合には、専用 PC カードアダプタ (TYPE 仕様のもの) が必要です。

- ・メモリースティック
- ・SD メモリカード
- ・マルチメディアカード
- ・CompactFlash
- ・microdrive
- ・SmartMedia
- ・xD ピクチャーカード

なお、本製品で動作確認がとれている専用 PC カードアダプタ、およびハードディスクカード、FLASH-ATA カード等につきましては、以下の弊社ホームページでご確認ください。

ホームページアドレス : <http://konicaminolta.jp/>



重要なご注意

メモリーカードをご利用の際は、以下の点にご注意ください。

メモリースティック、SDメモリーカードの著作権保護機能にはアクセスすることはできません。

(次ページに続く)



重要なご注意（続き）

メモリーカード以外のPCカードは使用できません。

5V仕様のSmartMediaを使用することはできません。

ID付きSmartMediaを使用した場合は通常のメディアとして認識されません。（ID機能はサポートされていません。）

SmartMediaは、フォーマットのクラスタサイズが規格で決められています。これをWindows標準のフォーマットなどでフォーマットすると、クラスタサイズが変わってしまうことがあります。

本製品でフォーマットを行うと、デジタルカメラから認識されなくなる場合があります。各メモリーカードを、デジタルカメラ等でも使用される場合には、本製品では絶対にフォーマットを行わないで下さい。

MOメディア

本製品では、下表で のついたMOメディアを使用することができます。

標準 = 標準タイプ OW = オーバーライトタイプ

128MB	標準	
	OW	-
230MB	標準	
	OW	
540MB	標準	
	OW	
640MB	標準	
	OW	
1.3GB	標準	×
	OW	-
2.3GB	標準	×
	OW	-

= 使用可能

× = 使用不可

- = このタイプは現在発売されていません。



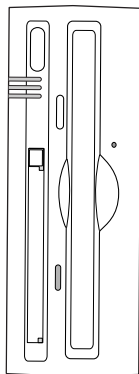
ご注意

- ・本製品では1.3GBおよび2.3GBのMOメディアを使用することはできません。
- ・他のMOユニットとのデータ交換には、128MBのMOメディアは使用しないでください。（この用途は保証範囲外とさせていただきます。）
これは128MBのMOユニットには、互換のとれないドライブを使用した製品があり、レーザー光の強度が本製品と異なる可能性があるためです。
データ交換には、230MB以上のMOメディアをご使用ください。

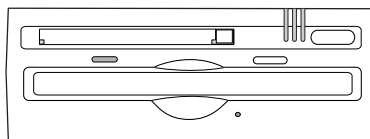
1.5 接続の前に

設置方向について

本製品は横置き・縦置きどちらでも設置することができますが、それぞれ以下のような方向で設置してください。間違った方向で設置すると、トラブルの原因となる場合があります。

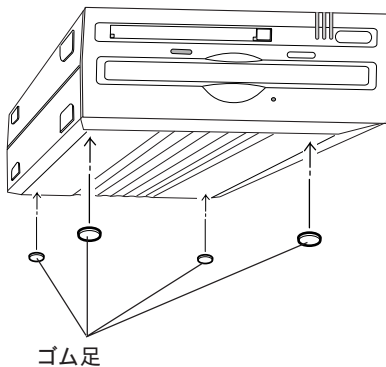


縦置きの場合



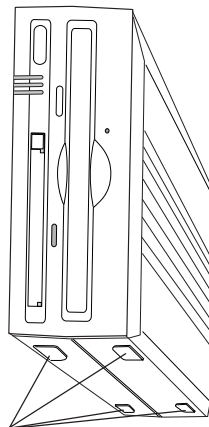
横置きの場合

横方向で設置する場合は設置時、下図のように付属のゴム足を、本製品の底面4ヶ所に貼り付けてください。



ゴム足

縦方向で設置する場合には設置時右図のように側面の滑り止め用クッションを下にして設置してください。



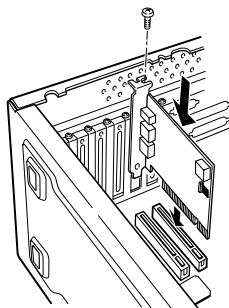
滑り止め用クッション

USB 2.0 インターフェイスボードの接続 (Windows のみ)

1

パソコン本体に USB 2.0 拡張ポートがない場合は別売りの USB 2.0 インターフェイスボード (PCI 用インターフェイスボード、もしくは CardBus 対応 USB 2.0 インターフェイスカード) が必要になります。

この場合、本製品の接続を行う前に USB 2.0 インターフェイスボードのマニュアルにしたがって接続やドライバのインストールを行っておいてください。(本製品を従来の USB 1.1 ポートに接続して使用する場合はこの作業は不要です。その場合の転送速度は従来の USB 1.1 と同じ Full-Speed (12Mbps) になります。)



本製品で動作確認がとれている USB 2.0 インターフェイスボードについては、以下の弊社ホームページでご確認ください。

ホームページアドレス : <http://konicaminolta.jp/>

第 2 章

Windows® 環境での使用方法

2 . 1 接続とインストール

本製品はOSのバージョンにより接続とインストール手順が異なります。本節ではOSごとに接続とインストール方法をご説明いたしますので、該当する部分をお読みください。



ご注意

本製品をUSB 2.0のHigh-Speedで使用する場合は接続先のパソコンのUSB 2.0拡張ポートへ接続します。ご使用のパソコンにUSB 2.0ポートがない場合は、接続先をUSB 1.1ポートにして本製品の接続とインストールを行ってください。USB 1.1ポートへ接続した場合、Full-Speed (12Mbps) までの対応となります。

2 . 1 . 1 Windows XP の場合

1

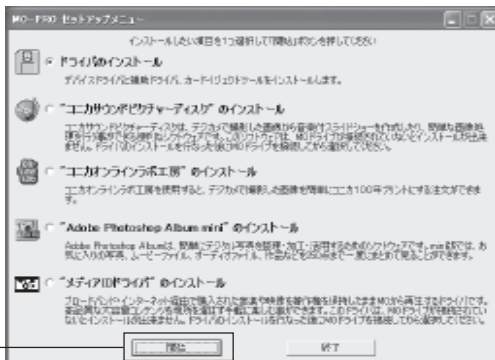
本製品を接続していない状態で、パソコン本体の電源をONにしてWindowsのシステムを起動し、管理者権限をもつユーザー(コンピュータの管理者)としてログオンしてください。

起動後に本製品付属の「ユーザーズソフトウェア」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

2

自動的に以下の「MO-PRO セットアップメニュー」が表示されますので「ドライバのインストール」を選び、「開始」ボタンをクリックしてください。

「開始」をクリック



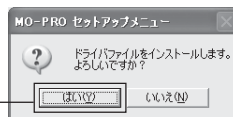
2.1 接続とインストール

2.1.1 Windows XPの場合

3

確認メッセージが表示されますので
「はい」をクリックしてください。

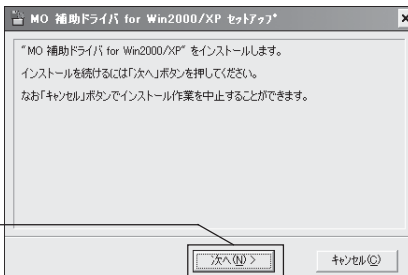
「はい」をクリック



4

「MO 補助ドライバ for Win2000/XP」のインストールを開始します。「次へ」ボタンをクリックしてください。

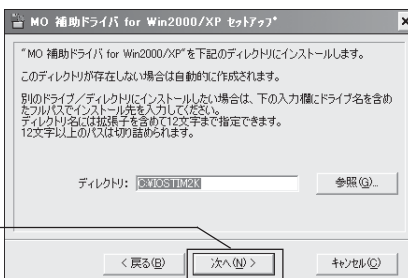
「次へ」をクリック



5

インストール先の「ディレクトリ名」が表示されますので、確認後、「次へ」ボタンをクリックしてください。インストール先を変更したい場合には、ウィンドウに表示されている、指示に従って変更してください。

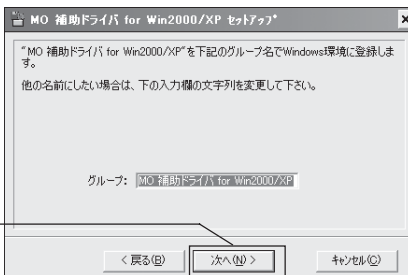
「次へ」をクリック



6

「MO 補助ドライバ for Win2000/XP」をWindows環境に登録するための「グループ名」が表示されますので、確認後、「次へ」ボタンをクリックしてください。「グループ名」を変更したい場合には、ウィンドウに表示されている、指示に従って変更してください。

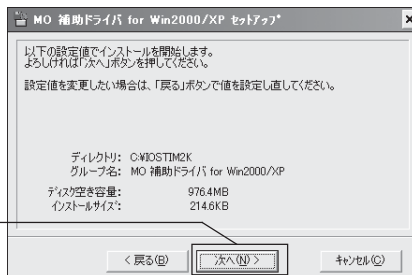
「次へ」をクリック



7

ウインドウに表示されている内容を確認後、「次へ」ボタンをクリックしてください。

「次へ」をクリック



8

必要なファイルがシステムに転送されます。転送が終了すると以下のウインドウが表示されます。「終了」ボタンをクリックしてください。

「終了」をクリック

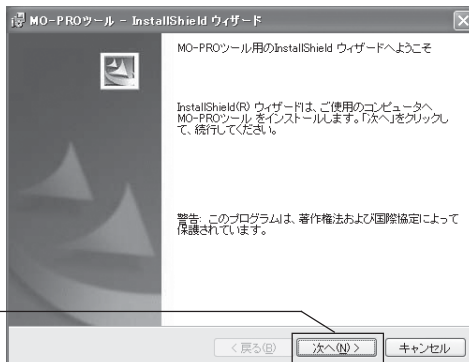


以上で「MO 補助ドライバ for Win2000/XP」のインストールは、終了です。続いて、「MO-PRO ツール」のインストールが開始されます。

9

「MO-PRO ツール用 InstallShield ウィザード」が起動します。「次へ」ボタンをクリックしてください。

「次へ」をクリック



2.1 接続とインストール

2.1.1 Windows XP の場合

10

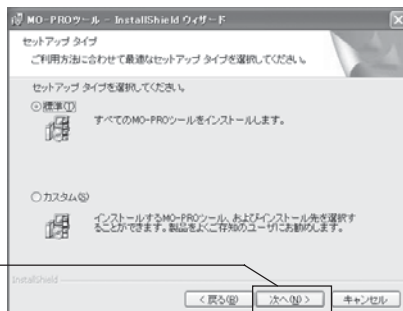
インストール先が表示されます。「MO-PRO ツールのインストール先:」を確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。インストール先を変更したい場合には、「変更」ボタンをクリックしてください。



「次へ」をクリック

11

セットアップタイプを選択します。通常は、「標準」を選び、「次へ」ボタンをクリックしてください。



「次へ」をクリック

12

ウィンドウに表示されている内容を確認後、「インストール」ボタンをクリックしてください。

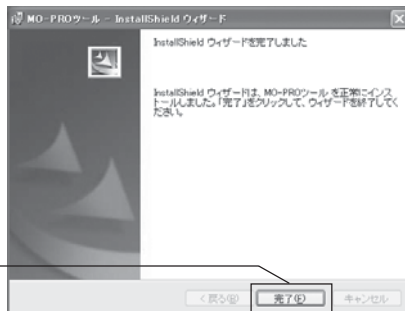


「インストール」をクリック

13

必要なファイルがシステムに転送されます。転送が終了すると以下のウィンドウが表示されますので、「完了」ボタンをクリックしてください。

「完了」をクリック

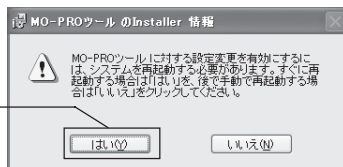


2

14

「MO-PRO ツール」のインストールが完了しました。以下のウィンドウが表示され、「はい」ボタンをクリックするとコンピュータは、再起動され、MO-PRO ツールに対する設定変更が有効になります。

「はい」をクリック



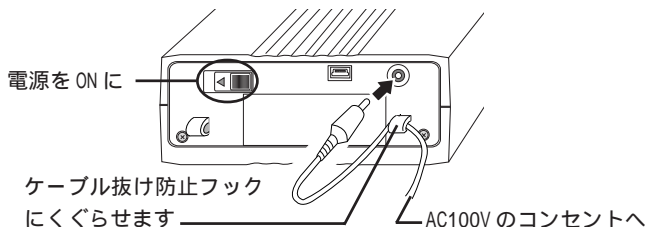
以上で「ドライバのインストール」は、終了です。コンピュータの再起動後、「ユーザズソフトウェア」CD-ROMをドライブから取り出しておいってください。続いて本製品の接続を行います。

2.1 接続とインストール

2.1.1 Windows XP の場合

15


本製品背面の電源コネクタに付属のACアダプタのプラグを接続し、ケーブルをケーブル抜け防止フックの下にくぐらせてください。ACアダプタはAC100Vのコンセントに接続してください。ACアダプタの接続ができれば本製品の電源スイッチをスライドして電源をONにします。



2

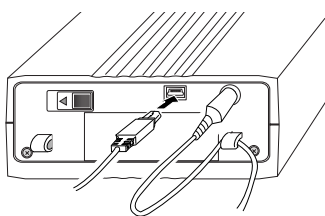


ご注意

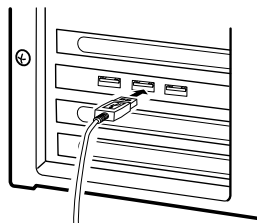
背面の電源スイッチは「」方向にスライドさせた後、元の位置に戻ります。電源をOFFにする際も同じ方向にスライドさせてください。

16

本製品前面の電源 /MO アクセス表示ランプが緑色に点灯したことを確認して、付属のUSBケーブルで本製品のUSBシリーズミニBコネクタと、パソコン本体のUSBポートを接続してください。



本製品側
小さい方のコネクタ



パソコン本体側
大きい方のコネクタ

17

自動的に認識され使用可能な状態になります。以下の手順を参照して接続とインストールの結果を確認してください。

接続結果の確認

「スタート」から「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるメニューから「管理」を選択してください。

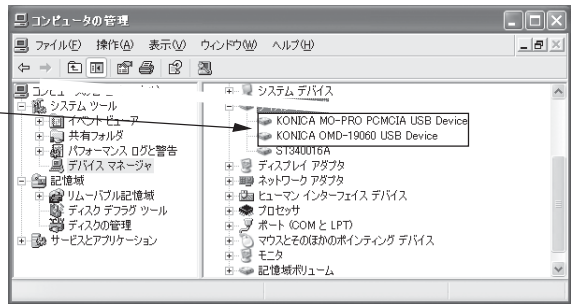
「コンピュータの管理」ウィンドウが表示されますので左側の一覧から「デバイスマネージャ」をクリックしてください。

「ディスクドライブ」に以下のデバイスが登録されていることを確認してください。(確認後「コンピュータの管理」ウィンドウを閉じてください。)

KONICA MO-PRO PCMCIA USB Device

KONICA OMD-19060 USB Device

この2つのデバイスが登録されていることを確認



以上で接続とインストールは終了です。

「2.2 メディアのセットとアクセスについて」から「2.6 補足事項」ではWindows環境での使用方法をご説明していますのでご使用前に必ずお読みください。

2 . 1 . 2 Windows Me の場合

Windows Me で本製品を使用する場合、本製品を接続する前に以下の手順でドライバのインストールをしなければなりません。これを行わないで接続した場合、パソコンがハングアップ状態（キーボードやマウスの操作を全く受け付けない状態）になる危険性がありますのでご注意ください。

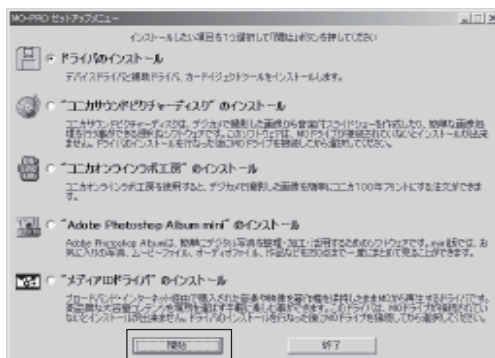
本製品を接続していない状態で、パソコン本体の電源を ON にして Windows Me のシステムを起動してください。起動後に本製品付属の「ユーザーズソフトウェア」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

Point

ポイント

ここで CD-ROM の自動挿入機能が有効になっていると、自動的にセットアップランチャーが起動しますが、この手順ではセットアップランチャーを使用しませんので「終了」と書かれたボタンをクリックして、セットアップランチャーのウィンドウを閉じてください。

自動的に以下の「MO-PRO セットアップメニュー」が表示されますので「ドライバのインストール」を選び、「開始」ボタンをクリックしてください。

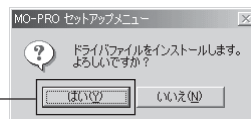


「開始」をクリック

3

確認メッセージが表示されますので
「はい」をクリックしてください。

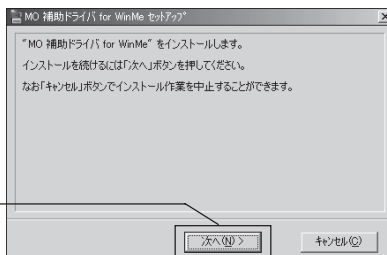
「はい」をクリック



4

「MO 補助ドライバ for WinMe」のインストールを開始します。「次へ」ボタンをクリックしてください。

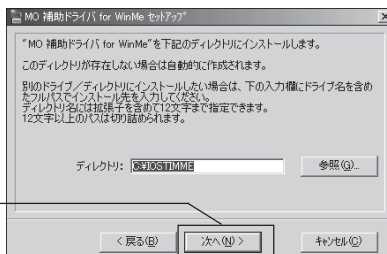
「次へ」をクリック



5

インストール先の「ディレクトリ名」が表示されますので、確認後、「次へ」ボタンをクリックしてください。インストール先を変更したい場合には、ウィンドウに表示されている、指示に従って変更してください。

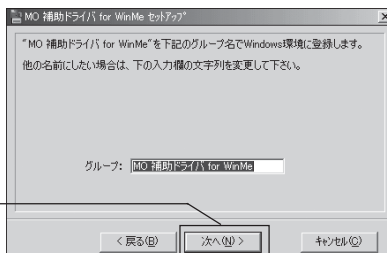
「次へ」をクリック



6

「MO 補助ドライバ for WinMe」を Windows 環境に登録するための「グループ名」が表示されますので、確認後、「次へ」ボタンをクリックしてください。「グループ名」を変更したい場合には、ウィンドウに表示されている、指示に従って変更してください。

「次へ」をクリック



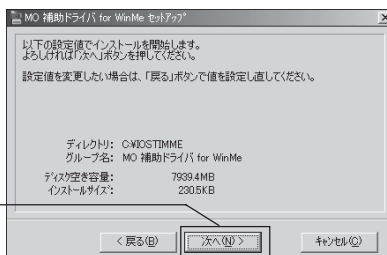
2.1 接続とインストール

2.1.2 Windows Me の場合

7

ウィンドウに表示されている内容を確認後、「次へ」ボタンをクリックしてください。

「次へ」をクリック

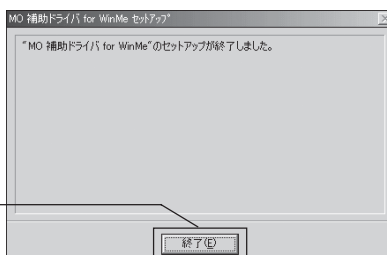


2

8

必要なファイルがシステムに転送されます。転送が終了すると以下のウィンドウが表示されます。「終了」ボタンをクリックしてください。

「終了」をクリック

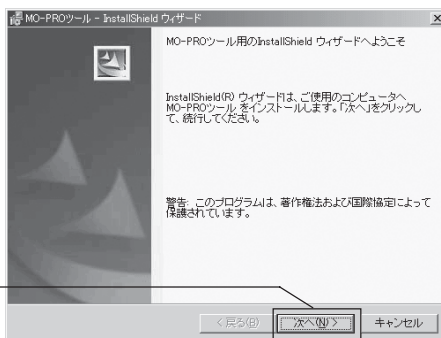


以上で「MO 補助ドライバ for WinMe」のインストールは、終了です。続いて、「MO-PRO ツール」のインストールが開始されます。

9

「MO-PRO ツール用 InstallShield ウィザード」が起動します。「次へ」ボタンをクリックしてください。

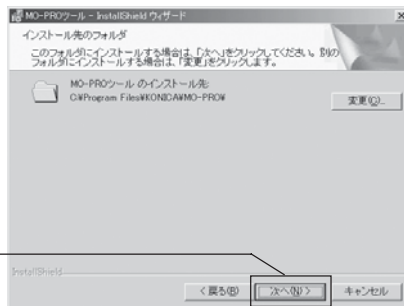
「次へ」をクリック



10

インストール先が表示されます。「MO-PRO ツールのインストール先：」を確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。インストール先を変更したい場合には、「変更」ボタンをクリックしてください。

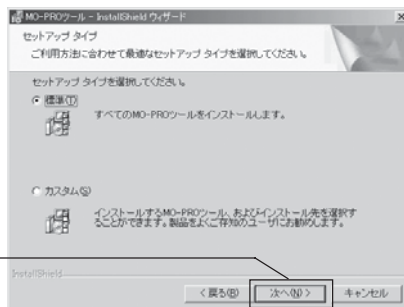
「次へ」をクリック



11

セットアップタイプを選択します。通常は、「標準」を選び、「次へ」ボタンをクリックしてください。

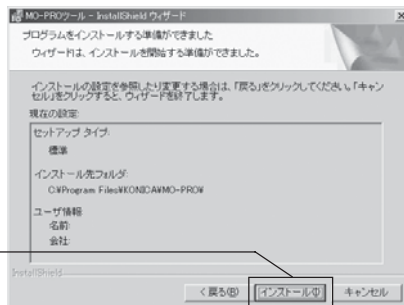
「次へ」をクリック



12

ウインドウに表示されている内容を確認後、「インストール」ボタンをクリックしてください。

「インストール」をクリック



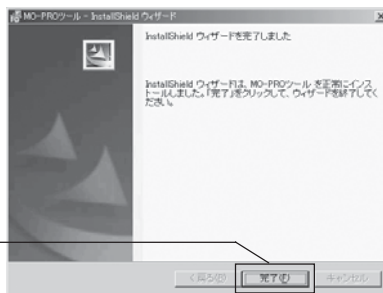
2.1 接続とインストール

2.1.2 Windows Me の場合

13

必要なファイルがシステムに転送されます。転送が完了すると以下のウィンドウが表示されますので、「完了」ボタンをクリックしてください。

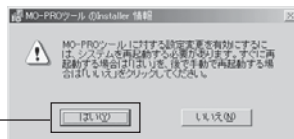
「完了」をクリック



14

「MO-PRO ツール」のインストールが完了しました。以下のウィンドウが表示され、「はい」ボタンをクリックするとコンピュータは、再起動され、MO-PRO ツールに対する設定変更が有効になります。

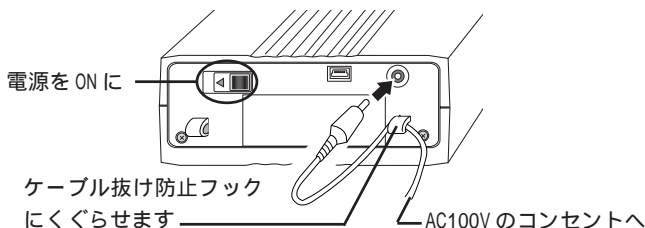
「はい」をクリック



以上で「ドライバのインストール」は、終了です。コンピュータが再起動された後、「ユーザズソフトウェア」CD-ROM をドライブから取り出しておいてください。続いて本製品の接続を行います。

15

本製品背面の電源コネクタに付属のACアダプタのプラグを接続し、ケーブルをケーブル抜け防止フックの下にくぐらせてください。AC アダプタはAC100V のコンセントに接続してください。AC アダプタの接続ができれば本製品の電源スイッチをスライドして電源を ON にします。

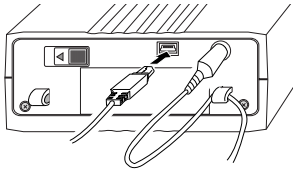


ご注意

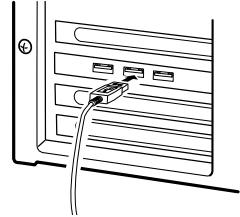
背面の電源スイッチは「 」方向にスライドさせた後、元の位置に戻ります。電源を OFF にする際も同じ方向にスライドさせてください。

16

本製品前面の電源 / MO アクセス表示ランプが緑色に点灯したことを確認して、付属の USB ケーブルで本製品の USB シリーズミニ B コネクタと、パソコン本体の USB ポートを接続してください。



本製品側
小さい方のコネクタ



パソコン本体側
大きい方のコネクタ

2

17

自動的に認識され使用可能な状態になります。下の手順を参照して接続とインストールの結果を確認してください。

接続結果の確認

「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択してください。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されますので「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。

「ディスクドライブ」に以下のデバイスが登録されていることを確認してください。

KONICA MO-PRO PCMCIA

KONICA OMD-19060

1. この 2 つのデバイスが登録されていることを確認

2. 確認後、「OK」ボタンをクリック



以上で接続とインストールは終了です。

「2.2 メディアのセットとアクセスについて」から「2.6 補足事項」では Windows 環境での使用方法をご説明していますのでご使用前に必ずお読みください。

2.1.3 Windows 98 の場合

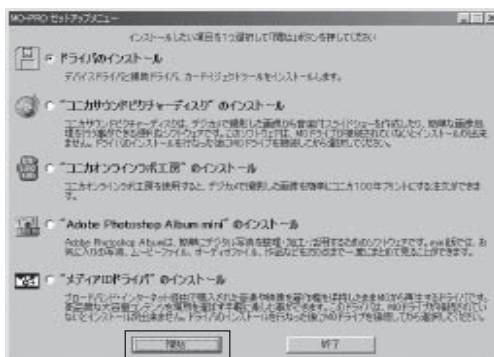
1

本製品を接続していない状態で、パソコン本体の電源を ON にして Windows のシステムを起動してください。

起動後に本製品付属の「ユーザーズソフトウェア」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

2

自動的に以下の「MO-PRO セットアップメニュー」が表示されますので「ドライバのインストール」を選び、「開始」ボタンをクリックしてください。

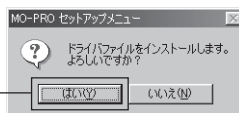


「開始」をクリック

3

確認メッセージが表示されますので「はい」をクリックしてください。

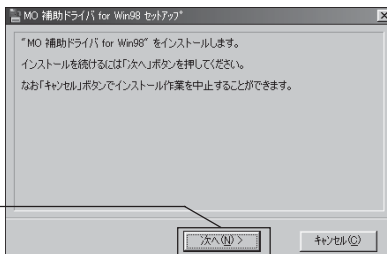
「はい」をクリック



4

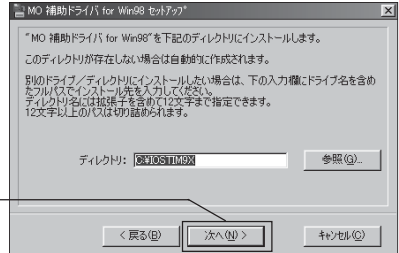
「MO 補助ドライバ for Win98」のインストールを開始します。「次へ」ボタンをクリックしてください。

「次へ」をクリック



5

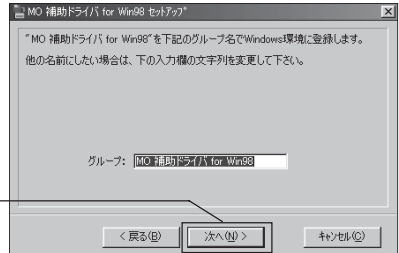
インストール先の「ディレクトリ名」が表示されますので、確認後、「次へ」ボタンをクリックしてください。インストール先を変更したい場合には、ウィンドウに表示されている、指示に従って変更してください。



2

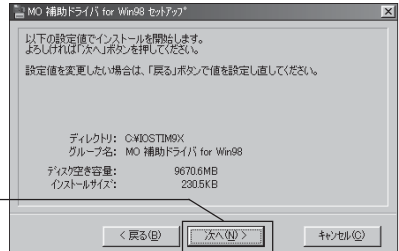
6

「MO 補助ドライバ for Win98」を Windows 環境に登録するための「グループ名」が表示されますので、確認後、「次へ」ボタンをクリックしてください。「グループ名」を変更したい場合には、ウィンドウに表示されている、指示に従って変更してください。



7

ウィンドウに表示されている内容を確認後、「次へ」ボタンをクリックしてください。



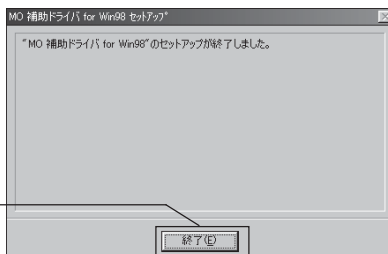
2 . 1 接続とインストール

2 . 1 . 3 Windows 98 の場合

8

必要なファイルがシステムに転送されます。転送が終了すると以下のウィンドウが表示されます。「終了」ボタンをクリックしてください。

「終了」をクリック

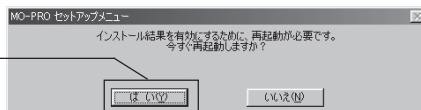


以上で「MO 補助ドライバ for Win98」のインストールは、終了です。

9

以下のウィンドウが表示され、「はい」ボタンをクリックするとコンピュータは、再起動され、設定変更が有効になります。

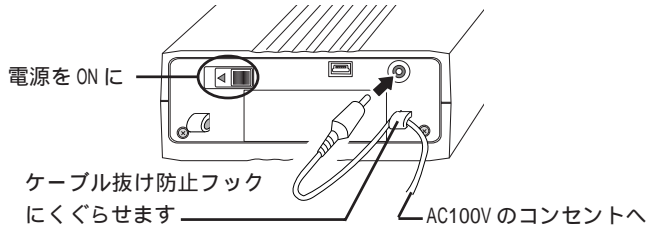
「はい」をクリック



以上で「ドライバのインストール」は、終了です。コンピュータが再起動された後、「ユーザズソフトウェア」CD-ROMをドライブから取り出し、おいてください。続いて本製品の接続を行います。

10

本製品背面の電源コネクタに付属のACアダプタのプラグを接続し、ケーブルをケーブル抜け防止フックの下にくぐらせてください。ACアダプタはAC100Vのコンセントに接続してください。ACアダプタの接続ができれば本製品の電源スイッチをスライドして電源をONにします。

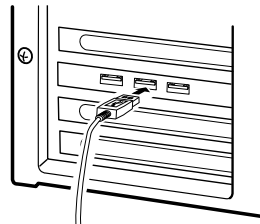
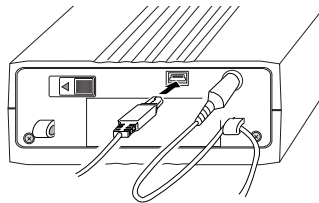


ご注意

背面の電源スイッチは「」方向にスライドさせた後、元の位置に戻ります。電源をOFFにする際も同じ方向にスライドさせてください。

11

本製品前面の電源 / MO アクセス表示ランプが緑色に点灯したことを確認して、付属のUSBケーブルで本製品のUSBシリーズミニBコネクタと、パソコン本体のUSBポートを接続してください。



12

自動的に認識され使用可能な状態になります。下の手順を参照して接続とインストールの結果を確認してください。

接続結果の確認

「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択してください。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されますので「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。

以下の3つのデバイスが登録されていることを確認してください。

「ディスクドライブ」に

KONICA MO-PRO PCMCIA

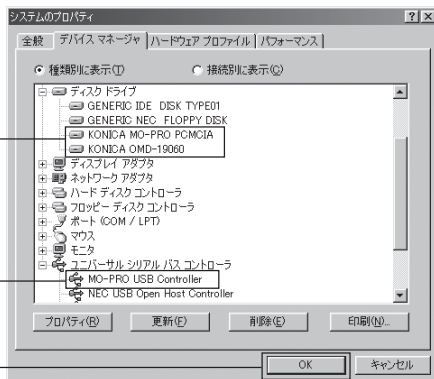
KONICA OMD-19060

「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」に

MO-PRO USB Controller

1. この3つのデバイスが登録されていることを確認

2. 確認後、「OK」ボタンをクリック



以上で接続とインストールは終了です。

「2 . 2 メディアのセットとアクセスについて」から「2 . 6 補足事項」ではWindows環境での使用方法をご説明していますのでご使用前に必ずお読みください。

2 . 1 . 4 Windows 2000 の場合

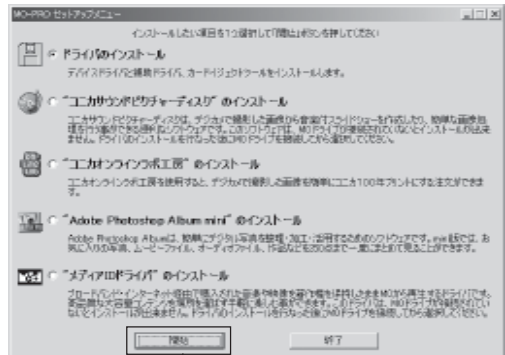
1

本製品を接続していない状態で、パソコン本体の電源を ON にして Windows 2000 システムを起動し、管理者権限のあるグループ（例えば「Administrators」グループ等）のメンバーとしてログオンしてください。起動後に本製品付属の「ユーザーズソフトウェア」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

2

自動的に以下の「MO-PRO セットアップメニュー」が表示されますので「ドライバのインストール」を選び、「開始」ボタンをクリックしてください。

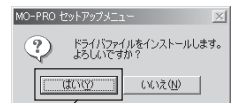
2



「開始」をクリック

3

確認メッセージが表示されますので「はい」をクリックしてください。



「はい」をクリック

2.1 接続とインストール

2.1.4 Windows 2000 の場合

4

「MO-PRO Windows 2000 Driver用のInstallShieldウィザード」が起動します。「次へ」ボタンを押してください。



「次へ」をクリック

5

インストール先が表示されます。「MO-PRO Windows 2000 Driverのインストール先:」を確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。インストール先を変更したい場合には、「変更」ボタンをクリックしてください。



「次へ」をクリック

6

プログラムをインストールする準備ができました。「インストール」ボタンをクリックしてください。

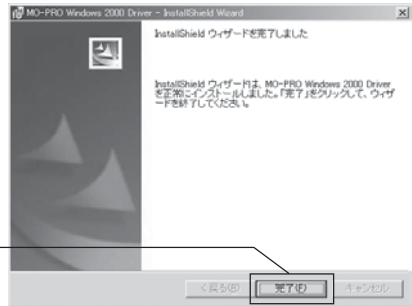


「インストール」をクリック

7

必要なファイルがシステムに転送されます。転送が終了すると以下のウィンドウが表示されますので、「完了」ボタンをクリックしてください。

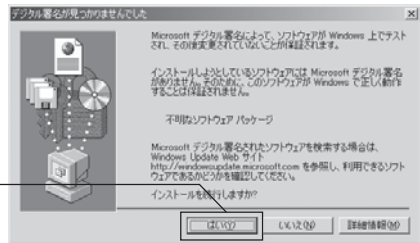
「完了」をクリック



8

下のウィンドウが表示されたら「はい」ボタンをクリックしてください。

「はい」をクリック



ここで「はい」ボタンが表示されない場合は、「OK」ボタンをクリックすると、本ドライバが正常にインストールされない状態で「MO-PRO Windows 2000 Driver用のInstallShieldウィザード」が完了してしまいます。この状態でインストール作業を継続していった場合、パソコン再起動後に本製品を接続してもご使用になることができません。このような場合には、以下の手順にしたがい、「ドライバの削除」、「ドライバ署名オプションの変更」、「ドライバの再インストール」を行ってください。

まず、「MO-PRO Windows 2000 Driver用のInstallShieldウィザード」の完了後、引き続き「MO補助ドライバ for Windows 2000/XP」および、「MO-PROツール」のインストーラーが起動しますので、どちらも「キャンセル」ボタンをクリックしてインストール作業を中断し、ここでは、当ソフトウェアをインストールしないようにしてください。上記、一連のソフトウェアのインストール作業が終了し、パソコンの再起動後、パソコンに本製品が接続されていないことを確認した上で、以下の「ドライバの削除」、「ドライバ署名オプションの変更」、「ドライバの再インストール」を行ってください。

2

ドライバの削除

CD-ROM ドライブに「ユーザーズソフトウェア」CD-ROMが入っていることを確認後、「MO-PRO セットアップメニュー」から「ドライバのインストール」を選び「開始」ボタンをクリックしてください。（または、「マイコンピュータ」の「MO-PRO5150CD」をダブルクリックして、「MO-PRO セットアップメニュー」を起動した後、「ドライバのインストール」を選び「開始」ボタンをクリックしてください。）

画面に表示される手順に従い進んで行き、「プログラムの保守」で「削除」を選んだ後、「次へ」ボタンをクリックする。

「プログラムの削除」で「削除」をクリックする。

「InstallShield ウィザードを完了しました。」で「完了」ボタンをクリックする。

「MO 補助ドライバ for Windows 2000/XP セットアップ」が起動するので「キャンセル」ボタンをクリックする。

「セットアップを終了してもよろしいですか？」の確認メッセージが表示されるので、「OK」ボタンをクリックする。

「MO-PRO ツール」が起動するので、「キャンセル」ボタンをクリックする。

「MO-PRO ツールのインストールを中断してもよろしいですか？」のメッセージが表示されるので、「はい」ボタンをクリックする。

「InstallShield ウィザードを完了しました」というメッセージが表示されるので、「完了」をクリックする。

「今すぐ再起動しますか？」の確認メッセージが表示されるので、「はい」ボタンをクリックし、パソコンを再起動します。

ドライバ署名オプションの変更

パソコンが再起動した後、「2.6 補足事項」の「ドライバ署名オプションについて」を参照して「ドライバ署名オプション」の変更を行ってください。（「ブロック」「警告」に変更）

ドライバの再インストール

「2.1.4 Windows 2000 の場合」を参照してドライバの再インストールを行ってください。



参考

本ドライバは、CD-ROM への保存時点で「Microsoft デジタル署名」を取得しておりませんので、上の「デジタル署名が見つかりませんでした」のウィンドウが表示されます。コニカミノルタオプト株式会社では本ドライバの十分なテストを行い、Windows 2000 上で正常に動作することを確認して提供しています。そのまま「はい」をクリックしてインストールを行ってください。

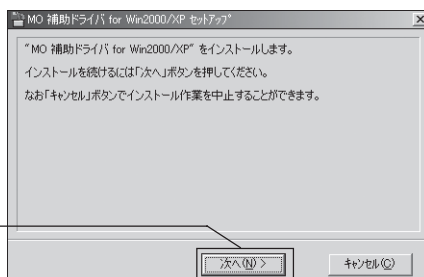
以上で「MO-PRO Windows 2000 Driver」のインストールは、終了です。続いて、「MO 補助ドライバ for Windows 2000/XP」のインストールが開始されます。

2.1 接続とインストール

2.1.4 Windows 2000 の場合

9

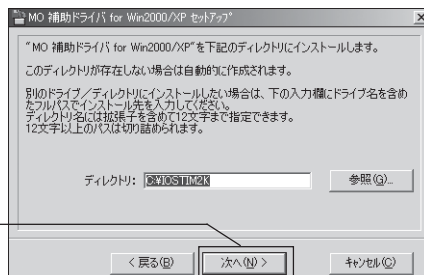
「MO 補助ドライバ for Win2000/XP セットアップ」が起動します。「次へ」ボタンをクリックしてください。



「次へ」をクリック

10

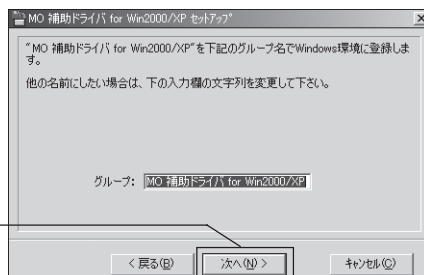
インストール先の「ディレクトリ名」が表示されますので、確認後、「次へ」ボタンをクリックしてください。インストール先を変更したい場合には、ウィンドウに表示されている、指示に従って変更してください。



「次へ」をクリック

11

「MO 補助ドライバ for Win2000/XP」を Windows 環境に登録するための「グループ名」が表示されますので、確認後、「次へ」ボタンをクリックしてください。「グループ名」を変更したい場合には、ウィンドウに表示されている、指示に従って変更してください。

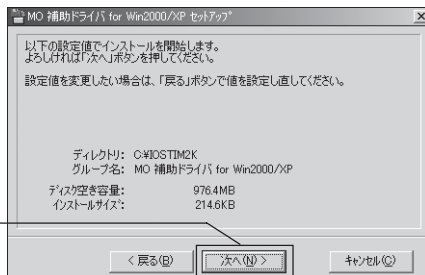


「次へ」をクリック

12

ウィンドウに表示されている内容を確認後、「次へ」ボタンをクリックしてください。

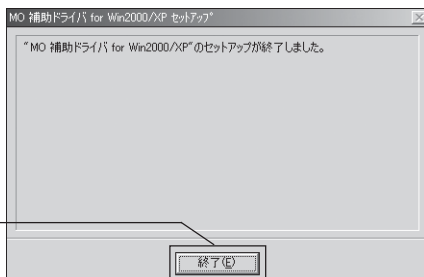
「次へ」をクリック



13

必要なファイルがシステムに転送されます。転送が終了すると以下のウィンドウが表示されます。「終了」ボタンをクリックしてください。

「終了」をクリック

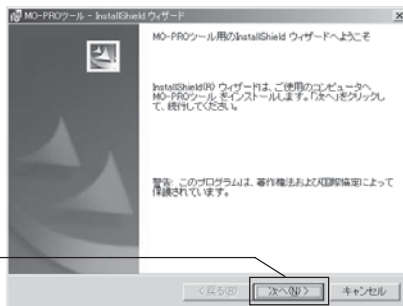


以上で「MO 補助ドライバ for Win2000/XP」のインストールは、終了です。続いて、「MO-PRO ツール」のインストールが開始されます。

14

「MO-PRO ツール用 InstallShield ウィザード」が起動します。「次へ」ボタンをクリックしてください。

「次へ」をクリック



2.1 接続とインストール

2.1.4 Windows 2000 の場合

15

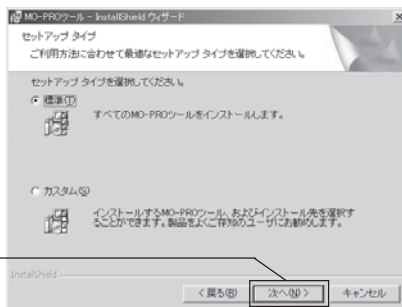
インストール先が表示されます。「MO-PRO ツールのインストール先:」を確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。インストール先を変更したい場合には、「変更」ボタンをクリックしてください。



「次へ」をクリック

16

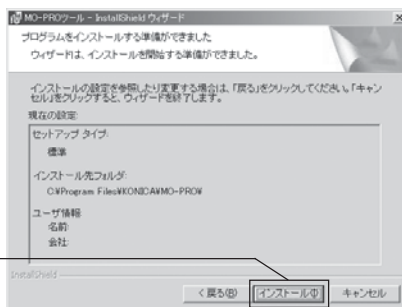
セットアップタイプを選択します。通常は、「標準」を選び、「次へ」ボタンをクリックしてください。



「次へ」をクリック

17

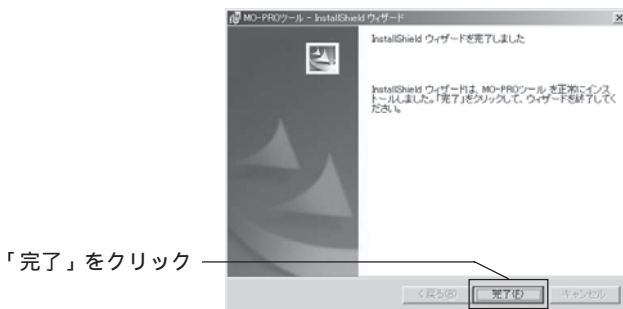
ウィンドウに表示されている内容を確認後、「インストール」ボタンをクリックしてください。



「インストール」をクリック

18

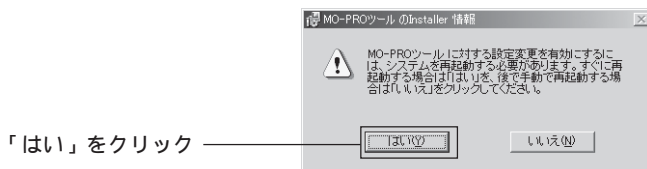
必要なファイルがシステムに転送されます。転送が終了すると以下のウィンドウが表示されますので、「完了」をクリックしてください。



2

19

「MO-PROツール」のインストールが完了しました。以下のウィンドウが表示され、「はい」ボタンをクリックするとコンピュータが再起動され、MO-PRO ツールに対する設定変更が有効になります。

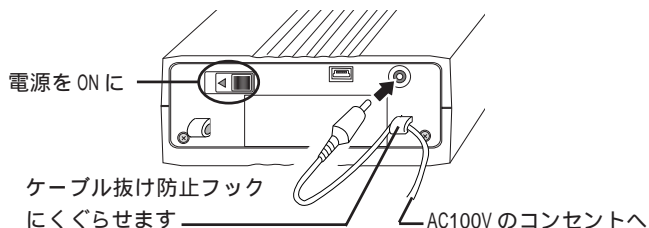


以上で「ドライバのインストール」は、終了です。コンピュータが再起動された後、「ユーザズソフトウェア」CD-ROMをドライブから取り出しておいてください。続いて本製品の接続を行います。

本製品の接続

20

本製品背面の電源コネクタに付属の AC アダプタのプラグを接続し、ケーブルをケーブル抜け防止フックの下にくぐらせてください。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続してください。AC アダプタの接続ができれば本製品の電源スイッチをスライドして電源を ON にします。

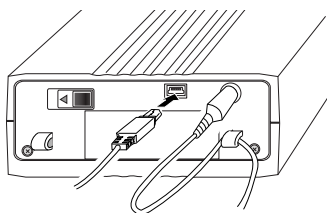


ご注意

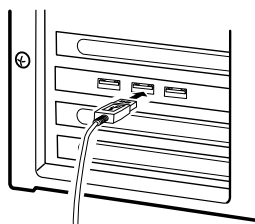
背面の電源スイッチは「 」方向にスライドさせた後、元の位置に戻ります。電源を OFF にする際も同じ方向にスライドさせてください。

21

本製品前面の電源 / MO アクセス表示ランプが緑色に点灯したことを確認して、付属の USB ケーブルで本製品の USB シリーズミニ B コネクタと、パソコン本体の USB ポートを接続してください。



本製品側
小さい方のコネクタ



パソコン本体側
大きい方のコネクタ

22

再度「デジタル署名が見つかりませんでした」のウィンドウが表示されたら手順と同じように「はい」ボタンをクリックしてください。(表示されない場合は接続結果の確認へお進みください。)

23

自動的に認識され使用可能な状態になります。下の手順を参照して接続とインストールの結果を確認してください。

接続結果の確認

「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるメニューから「管理」を選択してください。

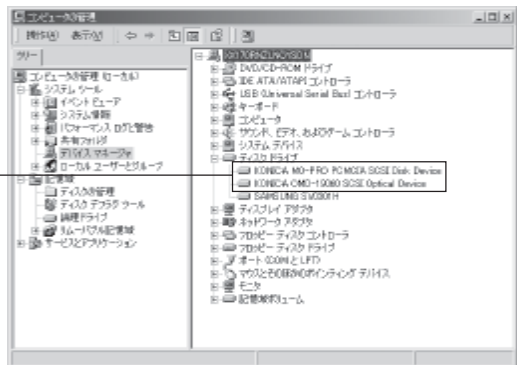
「コンピュータの管理」ウィンドウが表示されますので左側の一覧から「デバイスマネージャ」をクリックしてください。

「ディスクドライブ」に以下のデバイスが登録されていることを確認してください。(確認後「コンピュータの管理」ウィンドウを閉じてください。)

KONICA MO-PRO PCMCIA SCSI Disk Device

KONICA OMD-19060 SCSI Optical Device

この2つのデバイスが登録されていることを確認



以上で接続とインストールは終了です。

「2.2 メディアのセットとアクセスについて」から「2.6 補足事項」ではWindows環境での使用方法をご説明していますのでご使用前に必ずお読みください。

2.2 メディアのセットとアクセスについて

接続とインストールが終了すると、マイコンピュータ上に本製品のアイコンが2つ表示されます。これらの各アイコンをクリックすると本製品にセットしたメディアにアクセスすることができます。

Windows Me,98,2000では...

Windows XPでは...



本製品のアイコン1

本製品のアイコン2
Windows 98ではメモリーカードに対応するアイコンが右のようになります。



本製品のアイコン1

本製品のアイコン2

ドライブ名(「E:」「F:」などと表示された部分)および、各スロットに対応するアイコンはご使用のパソコン環境により異なります。



参考：メモリーカードアイコンについて

Windows 98以外の環境でご使用の場合も、「2.4 メモリーカードの取り出し方法」でインストールする「カードイジェクトツール」をシステムにインストールすると、メモリーカードのアイコンが自動的に右のように変わります。

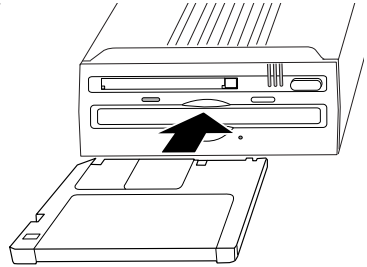
弊社では、Windows XP 環境では「Service Pack 1」を導入していない場合アイコンが変わらないことを確認しております。



メモリーカードアイコン

M0 メディアのセット方法

本製品に M0 メディアをセットする場合は、右図の方向で M0 メディア挿入口に挿入してください。（間違った方向では挿入できません。）

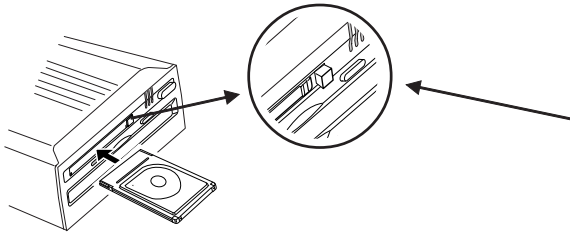


ご注意

本製品には M0 メディア以外のメディアは挿入しないで下さい。フロッピーディスク等を無理に挿入すると機器を損傷します。

メモリーカードのセット方法

本製品にメモリーカードをセットする場合は、下図の方向で PCMCIA スロットにしっかりと奥まで挿入してください。（間違った方向では挿入できません。）挿入後にイジェクトボタンが 7mm 程飛び出ます。



PCMCIA スロットに直接セットする場合

カードアダプタを使用する場合
（上の図は CompactFlash をセットする場合の例です。）

メディアを取り出す場合は「2.4 メディアの取り出し方法について」をご参照ください。



ポイント

PC カードアダプタに対応メディアをセットして PCMCIA スロットにセットした場合も、パソコンからは他のメモリーカードと同じように認識されます。

2.3 フォーマットについて

2.3.1 MOメディアのフォーマット

MOメディアのフォーマットを行う場合は、MOメディアがセットされた「リムーバブルディスク」のアイコンを右クリックして、表示されるメニューから「フォーマット」を選択します。このとき、間違えてメモリーカードをフォーマットしてしまわないようにご注意ください。

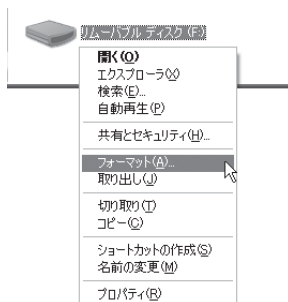
1 本製品に光磁気ディスクをセットします。

2 Windows XP の場合には、「スタート」ボタンから「マイコンピュータ」を選びます。他のOSでは、デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックします。

3 対象となる「光磁気ドライブ(リムーバブルディスク)」アイコンにポインタを合わせて、マウスの右ボタンをクリックします。サブメニューが開きますので、「フォーマット」を選択します。



Windows 98 の場合



Windows XP の場合

2.3.2 メモリーカードのフォーマット

メモリーカードのフォーマットをWindows 上で行いたい場合は、メモリーカードがセットされた「リムーバブルディスク」のアイコンを右クリックして、表示されるメニューから「フォーマット」を選択します。このとき、間違えてMOメディアをフォーマットしてしまわないようにご注意ください。

ただし、以下の点にご注意ください。

メモリーカードをデジタルカメラ等、本製品以外でもご使用の場合は、使用している機器にてフォーマットを行ってください。本製品にセットしてWindows上でフォーマットを行うと、デジタルカメラ等で認識できなくなる場合があります。

2

1

本製品にメモリーカードをセットします。

2

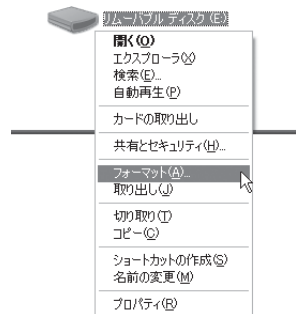
Windows XP の場合には、「スタート」ボタンから「マイコンピュータ」を選びます。他のOSでは、デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックします。

3

対象となる「光磁気ドライブ(リムーバブルディスク)」アイコンにポインタを合わせて、マウスの右ボタンをクリックします。サブメニューが開きますので、「フォーマット」を選択します。



Windows 98 の場合



Windows XP の場合

2.4 メディアの取り出し方法について

2.4.1 MOメディアの取り出し方法

Windows上でMOメディアを取り出したい場合は、「マイコンピュータ」に登録された本製品のアイコン（リムーバブルディスク）を右クリックして、表示されるメニューから「取り出し」を選択してください。

この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。

1

Windows XPの場合には、「スタート」ボタンから「マイコンピュータ」を選びます。他のOSでは、デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックします。

2

対象となる「光磁気ドライブ（リムーバブルディスク）」アイコンにポインタを合わせて、マウスの右ボタンをクリックします。サブメニューが開きますので、「取り出し」を選択します。



Windows 98 の場合



Windows XP の場合



ご注意

- ・本製品前面のイジェクトボタンはWindows が起動していないときに使用します。Windows 稼動中は使用しないでください。
- ・Windows XP、2000でMOメディアを取り出すには、管理者権限を持つユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administratorsグループ」）としてログオンする必要があります。

2.4.2 メモリーカードの取り出し方法

メモリーカードを取り出す際は、本製品付属のソフトウェア「MO-PRO ツール」を使用します。

「MO-PRO ツール」は、ドライバのインストール時にOSに組み込まれ、タスクバーには、以下のようなアイコンが表示されるようになります。



参考

本ドライバをアンインストールする場合は、「コントロールパネル」から「アプリケーションの追加と削除」(Windows XPの場合は、「プログラムの追加と削除」)を選択し、一覧の中から「MO-PRO ツール」を選択してください。

メモリーカードの取り出し手順

本製品にセットしたメモリーカードを取り出す場合は、以下のような点にご注意ください。

取り出す前に、メモリーカードに保存されたデータファイルなどが開かれていないことを確認してください。

取り出す前に、アクセス表示ランプが「点滅」していないことを確認してください。(カードへアクセス中には絶対に取り外しを行わないで下さい。)


パソコン本体がスリープ状態にあるときは、メモリーカードの取り出しは行わないでください。

以上の点を確認後、次の手順で取り外しを行います。

2.4 メディアの取り出し方法について

2.4.2 メモリーカードの取り出し方法

1

タスクバーのシステムトレイにあるカードイジェクトツールのアイコン()をクリックして、表示されるメニューから「安全なメディアの取り出し」を選択してください。

Windows XP、Me、2000では
このように表示されます。

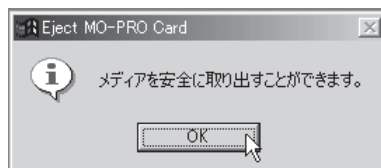


Windows 98 ではこのよう
に表示されます。



2

以下の右ウインドウが表示されたら、「OK」ボタンをクリックし、前面のPCMCIAスロット用イジェクトボタンを押してPCMCIAスロットからメモリーカードを取り出してください。



ご注意

イジェクトツールを使用して取り出しを行う作業は、一見無駄なようですが、システムの遅延書き込みデータを保護するために必要です。これを行わないで取り出すと、データが失われる場合がありますので、必ず上記の手順で取り出してください。

2.5 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグ(パソコン本体の電源がONの状態での取り付け、取り外し)が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合はメディアがセットされていないことを確認したうえで、必ず以下の手順に従って取り外しをしてください。

Point

ポイント

説明中に使用する「E:」「F:」というは本製品のドライブ名ですので環境によって異なります。

2

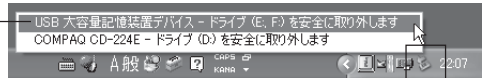
Windows XP、98、2000 での取り外し手順

タスクバーのシステムトレイに表示されている以下のアイコンをクリックして表示される以下の項目をクリックしてください。

Windows XP の場合

「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ(E;F;) を安全に取り外します」

この項目をクリック



このアイコンをクリック

Windows 98 の場合

「MO-PRO Mass Storage Controller の取り外し」

この項目をクリック

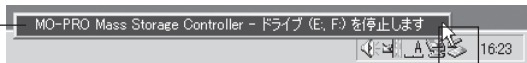


このアイコンをクリック

Windows 2000 の場合

「MO-PRO Mass Storage Controller - ドライブ(E; F;) を停止します」

この項目を
クリック



このアイコンをクリック

Windows XP では「USB 大容量記憶装置デバイス は安全に取り外すことができます」とメッセージが表示されたら取り外し可能となります。

Windows 98、2000 の場合はそれぞれ以下のようなメッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。



Windows 98 で表示される
メッセージ



Windows 2000 で表示される
メッセージ

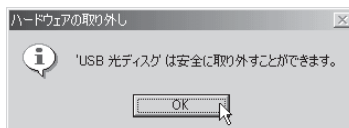
USB ケーブルをパソコン側、本製品の順で外し、本製品の電源を OFF にして AC アダプタを外してください。

Windows Me での取り外し手順

タスクバーのシステムトレイに表示されている以下のアイコンをクリックして表示される「USB 光ディスク - ドライブ (F:)」をクリックしてください。



以下のメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。



再び手順 と同様にアイコンをクリックして「USB ディスク - ドライブ (G:)」をクリックします。

「'USB ディスク' は安全に取り外すことができます。」というメッセージが表示されるので「OK」ボタンをクリックしてください。

USB ケーブルをパソコン側、本製品の順で外し、本製品の電源を OFF にして AC アダプタを外してください。

2 . 6 補足事項

ドライバ署名オプションについて

「Microsoft デジタル署名」が取得されていないドライバ/セットアップ情報をインストールしようとすると、「デジタル署名が見つかりませんでした」のウィンドウが表示されますが、「インストールを続行しますか?」と表示されない場合は、インストールが完了して、パソコンの再起動後に本製品を接続すると「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」が起動し、本製品のドライバをインストールすることができません。この現象は、「ドライバ署名オプション」が「ブロック」に設定されている場合に起こります。ドライバ/セットアップ情報のインストールを完了するためには、「ドライバ署名オプション」を「警告」に変更してから、インストールを行う必要があります。ここでは、変更の手順を説明します。



ご注意

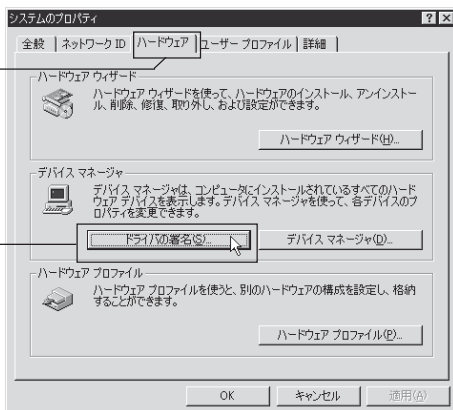
- ・使用するパソコンをシステム管理者の方がご設定いただいている場合には、本記載内容をシステム管理者の方にご参照いただき、設定変更等はシステム管理者の方が行ってください。
 - ・ここで説明する手順を実行すると、「ドライバ署名オプション」を「警告」に変更します。必要に応じてドライバ/セットアップ情報のインストール終了後、変更前の「ブロック」の状態に戻しておいてください。
-

マイコンピュータ」アイコンを右クリックして、表示されるサブメニューから「プロパティ」をクリックしてください。

「システムのプロパティ」のウィンドウが表示されますので、「ハードウェア」タブをクリックして、「ドライバの署名」ボタンをクリックしてください

1. 「ハードウェア」
タブをクリック

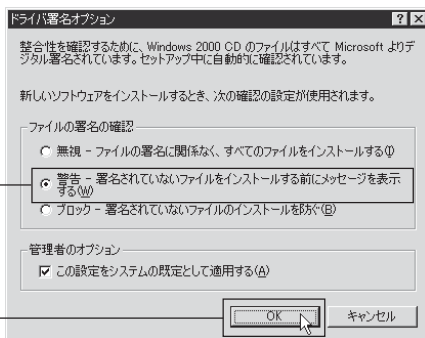
2. 「ドライバの署名」
ボタンをクリック



「ドライバ署名オプション」ウィンドウが表示されるので「ファイル署名の確認」欄の設定を「警告」に変更して「OK」ボタンをクリックしてください。

1. 「警告」に変更

2. 「OK」をクリック



「システムのプロパティ」ウィンドウを閉じてください。以上で「ドライバ署名オプション」の変更は終了です。

メディアをセットした状態でのWindowsの起動について

本製品にM0メディアまたはメモリカードをセットした状態で、Windowsのシステムを起動または、再起動すると、セットしたメディアを正常に認識しない場合があります。Windowsの起動後に各メディアをセットしてご使用ください。

メディア ID について

本製品はメディア ID 規格に対応しております。今後様々な形でメディア ID (Media ID) を前提とした著作権保護が施されたコンテンツの配信が予定されますが、メディア ID 規格に対応していれば、このようなコンテンツを保存 / 再生することが可能です。

付属の「ユーザーズソフトウェア」CD-ROMからメディア ID 対応ドライバをインストールすれば、本製品をメディア ID 対応のM0ドライブとしてご使用いただくことができます。

(メディア ID 対応ドライバにつきましては付属の「補足説明書」をご参照ください。)

第3章

Macintosh 環境での使用方法

本書作成時点では、Macintosh シリーズで USB 2.0 High-Speed インターフェースが標準搭載されているマシンには、対応していません。また、他の Macintosh シリーズでは USB 2.0 High-Speed はサポートされていません。そのため、データの最大転送速度は USB 1.1 (Full-Speed) までとなります。

3.1 接続とインストール

ここでは、本製品のドライバをインストールして、本製品を接続するまでの手順をご説明します。インストールを行う前に、他の全てのプログラムを終了させておいてください。

Point

ポイント

Mac OS X 10.1.3 以降をご使用の場合は、OS 標準のドライバで動作しますので、以下の手順でのドライバのインストールは不要です。「3.1.2 本製品の接続」へお進みください。

3.1.1 ドライバのインストール

1

本製品を接続していない状態で Macintosh のシステムを起動し、「ユーザーズソフトウェア」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。

2

本製品の動作環境、注意事項などが書かれた「Read Me (MO & PC カードリーダーライターについて V1.0)」が表示されますので、一読されたあと「ファイル」メニューから「終了」を選び、閉じてください。その後、以下のウインドウが表示されますので、「ドライバインストール」をダブルクリックして起動してください。

このアイコンを
ダブルクリック



3

以下のウィンドウが表示されますので「実行」ボタンをクリックしてください。

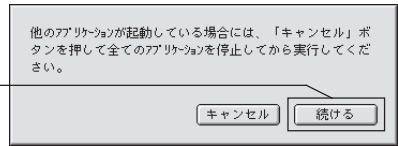
「実行」をクリック



4

以下のメッセージが表示されます。他のプログラムなどが起動していないことを確認して、「続ける」ボタンをクリックしてください。

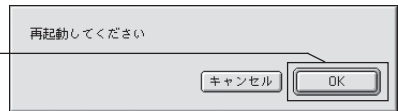
「続ける」をクリック



5

必要なファイルがシステムに転送され、終了すると、以下のウィンドウが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

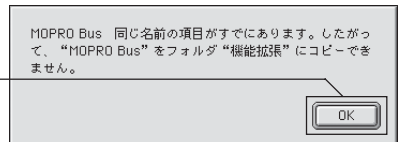
「OK」をクリック



システムが再起動されます。再起動したらドライバのインストールは終了です。「ユーザズソフトウェア」CD-ROMをCDドライブから抜き出しておいてください。

4で「続ける」ボタンをクリックした後、以下のようなメッセージが表示された場合には、それらのファイルは既にインストール済みですので、「OK」をクリックしてください。

「OK」をクリック



3.1 接続とインストール

3.1.1 ドライバのインストール

「OK」をクリック

MOPRO Shim 同じ名前の項目がすでにあります。したがって、“MOPRO Shim”をフォルダ“機能拡張”にコピーできません。

OK

「OK」をクリック

MOPRO USB 同じ名前の項目がすでにあります。したがって、“MOPRO USB”をフォルダ“機能拡張”にコピーできません。

OK

また、以下のようなメッセージが表示される場合があります。これは4で「キャンセル」または、「続ける」ボタンの何れもクリックされない状態で一定時間経過した後、「キャンセル」または「続ける」ボタンを押した際に表示されます。この場合には、「OK」ボタンをクリックした後、2からインストールをやり直してください。

「OK」をクリック



アップルイベントの応答待ち、あるいは受け取り通知待ちの状態でしたが、規定時間内に受け取れませんでした。

OK

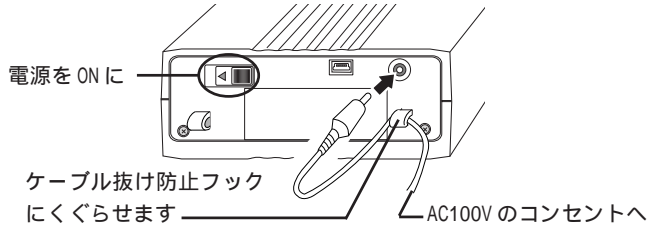
3.1.2 本製品の接続

1


パソコン本体の電源 ON にしてシステムを起動させてください。

2

本製品背面の電源コネクタに付属のACアダプタのプラグを接続し、ケーブルをケーブル抜け防止フックの下にくぐらせてください。ACアダプタはAC100Vのコンセントに接続してください。ACアダプタの接続ができたから本製品の電源スイッチをスライドして電源をONにします。

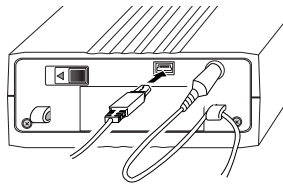


ご注意

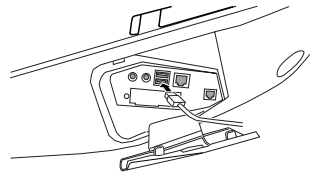
背面の電源スイッチは「」方向にスライドさせた後、元の位置に戻ります。電源をOFFにする際も同じ方向にスライドさせてください。

3

本製品前面の電源 / MO アクセス表示ランプが緑色に点灯したことを確認して、付属のUSBケーブルで本製品のUSB シリーズミニB コネクタと、パソコン本体のUSBポートを接続してください。



本製品側
小さい方のコネクタ



パソコン本体側
大きい方のコネクタ

4

以上で接続とインストールは終了です。これで本製品を使用できる状態になりました。本製品にフォーマットされたメディアをセットすると、デスクトップ上にアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックするとメディアにアクセスすることができます。(フォーマット手順につきましては「3.3 メディアのフォーマットについて」をご参照ください。



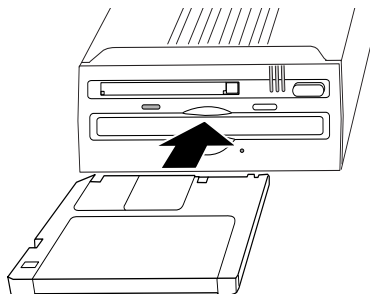
参考

Mac OS X では本製品を接続すると自動的に認識され使用できる状態になります。

3 . 2 メディアのセットとアクセスについて

MO メディアのセット方法

本製品に MO メディアをセットする場合は、右図の方向で MO メディア挿入口に挿入してください。（間違った方向では挿入できません。）

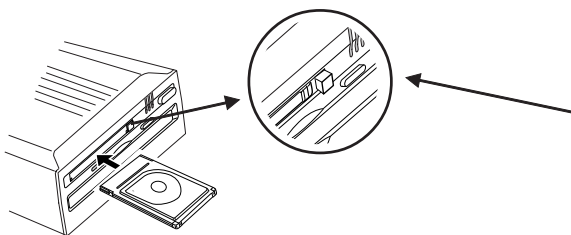


ご注意

本製品には MO メディア以外のメディアは挿入しないで下さい。フロッピーディスク等を無理に挿入すると機器を損傷します。

メモリーカードのセット方法

本製品にメモリーカードをセットする場合は、下図の方向で PCMCIA スロットにしっかりと奥まで挿入してください。（間違った方向では挿入できません。）挿入後にイジェクトボタンが 7mm 程飛び出ます。



PCMCIA スロットに直接セットする場合 カードアダプタを使用する場合

メディアを取り出す場合は「3 . 4 メディアの取り出し方法について」をご参照ください。

Point

ポイント

PC カードアダプタに対応メディアをセットして PCMCIA スロットにセットした場合も、パソコンからは他のメモリーカードと同じように認識されます。

3.3 メディアのフォーマットについて

Macintosh 環境では MO メディア・メモリーカード共に以下の方法でフォーマットを行います。

Mac OS 9.2.2 までの場合

「特別」メニューから「ディスクの初期化」を起動してフォーマットを行います。

Mac OS X 10.1.3 以降の場合

「移動」メニューから「アプリケーション (Application)」を選択し「ユーティリティ (Utility)」フォルダをクリックし「ディスクユーティリティ (Disk Utility)」を起動してフォーマットを行います。

ただし、上記の方法でフォーマットしたメディアはスタンドアロンモードでご使用になれません。スタンドアロンモードでの使用については「第4章 スタンドアロンモード」をご参照ください。



重要なお注意

- ・メモリーカードをデジタルカメラ等、本製品以外でもご使用の場合は、使用している機器にてフォーマットを行ってください。本製品にセットして Mac OS 上でフォーマットを行うと、デジタルカメラ等で認識できなくなる場合があります。
- ・「Disk Utility」を Mac OS X 10.1.3 以降でご使用時にフォーマット形式に「MS-DOS」を選択した場合は、ボリュームを半角英数字11文字以内で指定してください。

Point

ポイント

Mac OS でフォーマットを行う場合、「フォーマット」形式には、「Mac OS 標準」と「Mac OS 拡張」のいずれかをするをお勧めします。データ交換などを目的とする場合は「Mac OS 標準」を、それ以外の場合は「Mac OS 拡張」をお勧めします。

Mac OS 標準

従来の Macintosh シリーズでサポートされていた形式です。汎用性はありますが、大容量の MO メディアで選択すると、保管効率が悪くなります。

Mac OS 拡張

Mac OS 8.1 からサポートされた形式です。大容量の MO メディアを効率よく使用することができます。ただし、この形式でフォーマットすると、Mac OS 8.0 以前のシステムではアクセスできなくなります。

3 . 4 メディアの取り出しについて

Mac OS上で本製品にセットしたメディアを取り出したい場合は、必ずアンマウントを実行してください。アンマウントは次のいずれかの方法で行います。

デスクトップ上のアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップする。

デスクトップ上のアイコンをクリックして選択状態にして、「特別」メニューの「取り出し」を選択する。(Mac OS Xの場合は「ファイル」メニューの取り出しを選択)

デスクトップ上のアイコンをクリックして選択状態にして、キーボードから「アップル+E」キーを入力する。

M0メディアの場合は上記いずれかの方法を行うとメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



M0メディアご使用の際のご注意

本製品前面のイジェクトボタンはMac OSが起動していないときに使用します。Mac OS稼動中は使用しないでください。

3.5 補足事項

本製品を取り外す場合は...

本製品はUSBインターフェースを採用しているため、ホットプラグ（パソコン本体の電源がONになっている状態での取り付け・取り外し）が可能です。ただし、以下の点にはご注意ください。

本製品を取り外す場合は、必ず全てのメディアをアンマウントして本製品から取り外しておいてください。

スリープ設定について

本製品はスリープには対応しておりません。以下の手順でスリープ設定を「しない」にして本製品をご使用ください。

Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2の場合

「アップル」メニューから「コントロールパネル」「省エネルギー設定」をクリック。

「省エネルギー設定」ウィンドウで「スリープ設定」タブが選択されていることを確認。

「スリープ設定までの非動作時間」を「しない」に設定してウィンドウを閉じます。

Mac OS X 10.1.3以降の場合

「アップル」メニューから「システム環境設定」をクリック。

「システム環境設定」ウィンドウの一覧の中から「省エネルギー」をクリック。

メディアをセットした状態でのMac OSの起動について

本製品にMOメディアまたはメモリカードをセットした状態で、Mac OSを起動または、再起動すると、セットしたメディアを正常に認識しない場合があります。Mac OSの起動後に各メディアをセットしてご使用ください。

第4章 スタンドアロンモード

スタンドアロンモードではパソコンに接続せずにMOメディアのフォーマットをする「フォーマットモード」およびメモリーカードからMOメディアヘデータのコピーをする「コピーモード」の機能を搭載しています。本章でこれらの機能の使用方法についてご説明いたします。

4 . 1 MO メディアのフォーマット

フォーマットモードでMOメディアのフォーマットを行う場合、以下の点にご注意ください。

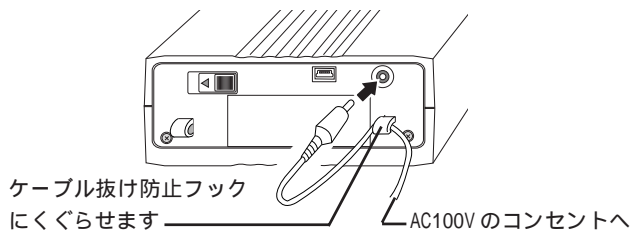
640MBのMOメディアをフォーマットモードでフォーマットした場合、Mac OS 9.0.4～9.2.2までおよび、Mac OS X 10.1.3～10.1.5の環境ではアクセスできません。(Windows OSおよびMac OS X 10.2.2以降では使用できます。)

これはスタンドアロンモードで640MBのMOメディアをフォーマットすると形式が「FAT16/2048セクタ」となるのに対し、上記OS側がその形式をサポートしていないことによります。

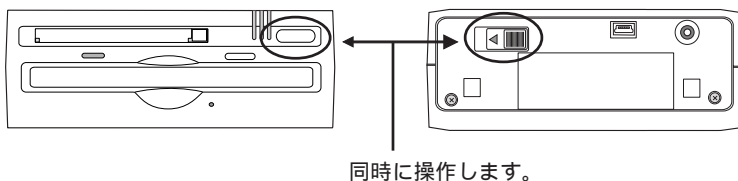
上記OS環境で使用するMOメディアをフォーマットモードでフォーマットする場合は540MBまでのものをご使用ください。

フォーマット手順

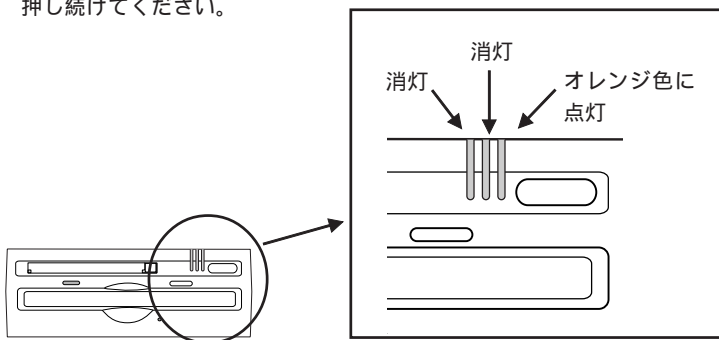
- 1 本製品背面の電源コネクタに付属のACアダプタのプラグを接続し、ケーブルをケーブル抜け防止フックにくぐらせてください。ACアダプタはAC100Vのコンセントに接続します。



- 2 本製品前面のコピーボタンを押しながら、背面の電源スイッチをスライドさせてください。

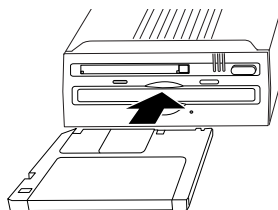


コピーボタンはステータスランプ1(右端)がオレンジ色に点灯するまで押し続けてください。



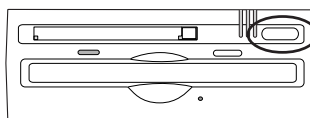
3

M0 メディアを本製品にセットしてください。(ステータスランプ2が赤色に点灯します。)



4

本製品前面のコピーボタンを押します。



5

M0メディアのフォーマットが始まります。フォーマット中はステータスランプ1がオレンジ色に点滅します。

ステータスランプ1が赤色に点灯し、ステータスランプ2が点滅をはじめた場合はM0メディアに何らかの問題がある場合が考えられます。
「5 . 1 . 2 スタンドアロンモードでのトラブル」をご参照ください。

6

正常にフォーマットが終了すると、状態表示ランプが消灯します。以上でフォーマットは終了です。終了後本製品は自動的にコピーモードになります。

フォーマットしたメディアを使用してそのままコピーを行う場合は「4 . 2 メモリーカードからM0メディアへデータのコピー」のコピー手順以降をご参照ください。

いったん終了する場合は、前面のM0イジェクトボタンを押してメディアを取り出し、背面の電源スイッチをスライドさせて電源を切り、ACアダプタを取り外しておいてください。

4 . 2 メモリーカードから M0 メディアヘデータのコピー

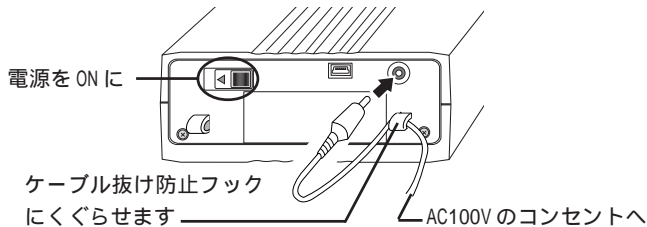
コピーモードでメモリーカードから M0 メディアヘデータをコピーする場合は以下の点にご注意ください。

- ・コピーモードではフォーマット形式が FAT 16 のメディアのみ認識されます。HFS、FAT 32、NTFS 等でフォーマットされたメディアはご使用になれません。
- ・M0 メディアからメモリーカードへのデータコピーはできません。
- ・コピーを実行する際、コピー元となるメモリーカードのデータ容量が、コピー先の M0 メディアの空き容量を越える場合はエラーとなります。

コピー手順

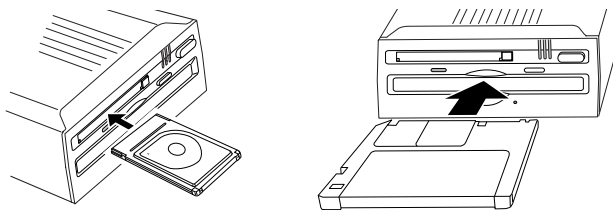
1

本製品背面の電源コネクタに付属のACアダプタのプラグを接続し、ケーブルをケーブル抜け防止フックにくぐらせてください。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続します。接続ができたなら電源スイッチをスライドさせて電源を ON にします。



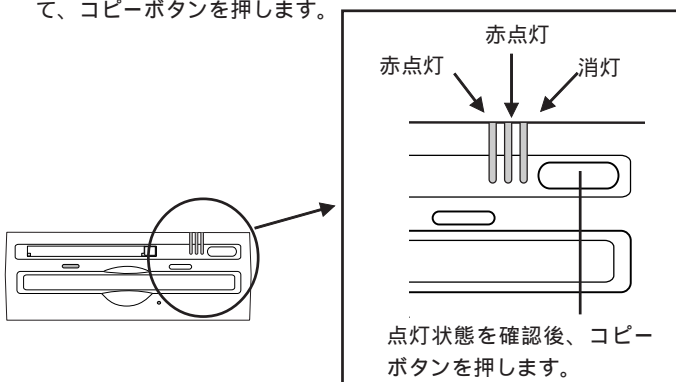
2

電源 / M0 アクセス表示ランプが緑色に点灯したことを確認したら、メモリーカード、M0 メディアの順で本製品にセットします。



3

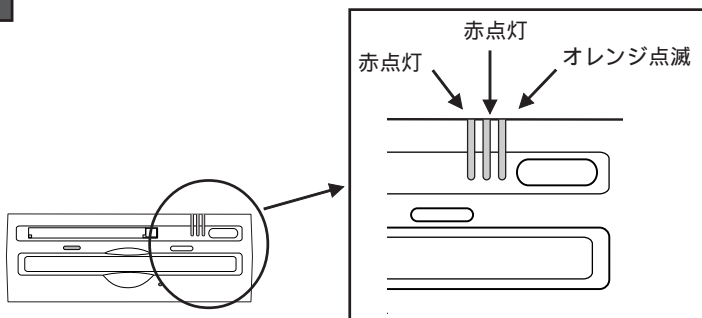
ステータスランプ2(中央:M0メディアに対応)、ステータスランプ3(左側:メモリーカードに対応)の各ランプが赤色に点灯したことを確認して、コピーボタンを押します。



4

4

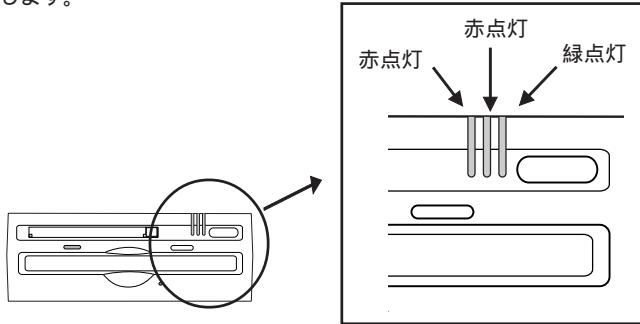
コピー中はステータスランプ1 (OPERATION) がオレンジ色に点滅します。



ステータスランプ2 (M0) または3 (CARD) が点滅し、ステータスランプ1 (OPERATION) が赤色に点灯した場合は、点滅をしている側のメディアに何かのエラーがある場合が考えられます。「5.1.2 スタンドアロンモードでのトラブル」をご参照ください。

5

コピーが正常に終了するとステータスランプ1(OPERATION) が緑色に点灯します。



6

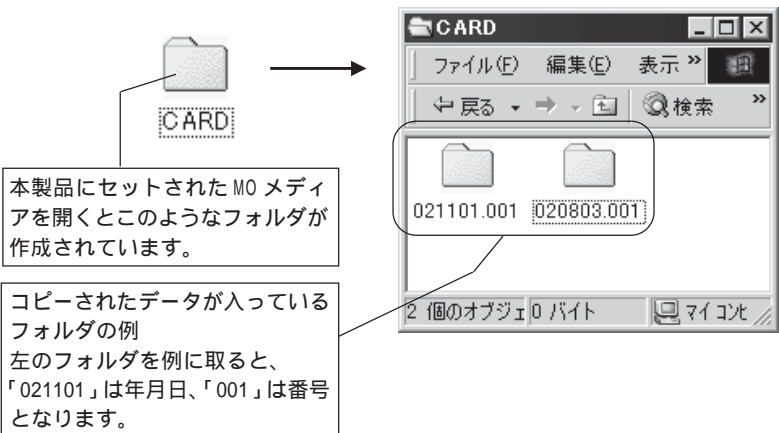
以上でコピーは終了です。点滅しているランプがないことを確認して、各メディアを取りだしてください。取り出し後、背面の電源スイッチをスライドさせて本製品の電源を切ります。

Point

ポイント

コピーされたデータは、M0メディアの中に自動的に作成される「CARD」というフォルダの中にフォルダ単位でコピーされます。フォルダ名は「年月日+番号」となります。

「年月日」にはメモリーカード内に保存されている任意のデータファイルの保存日時が適用されます。



Windows 環境でフォルダを確認した場合の例

第5章 補足事項

5.1 トラブルシューティング

5.1.1 パソコン接続時のトラブル

本製品の電源が入らない

電源ケーブルがしっかりと接続されていますか。

AC アダプタは本製品付属のものを使用していますか。本製品付属以外の AC アダプタは使用しないでください。

本製品を接続したが認識されない。

ドライバは正しい手順でインストールされていますか？

ケーブルの接続に接触不良などがないかどうか確認してください。
本製品を USB ハブ経由で接続している場合は、パソコンの USB ポートに直接接続して試してみてください。

特定の MO メディアをアクセスできない。

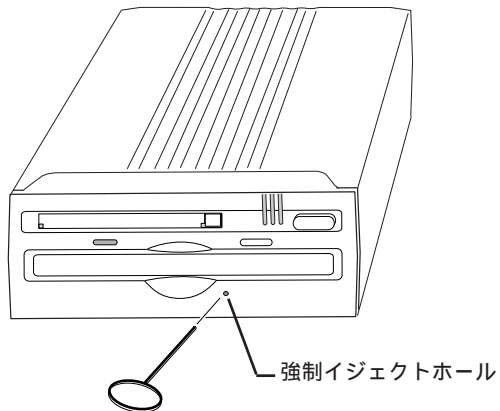
その MO メディアはフォーマットされていますか？ 一般に MO メディアは物理フォーマット済みで発売されていますが、物理フォーマットのみではアクセスはできません。本書記載の方法でフォーマット（論理フォーマット）を行ってください。

MO メディアではスーパーフロッピーフォーマット（FAT16）形式が一般的ですが、ハードディスク形式やアップルコンピュータ社の Macintosh シリーズ用にフォーマットされたディスクもあります。異なるシステムとデータ交換を行う場合には、スーパーフロッピーフォーマットの MO メディアを使用してください。（Macintosh シリーズでスーパーフロッピーフォーマットの MO メディアを使用するには、MacOS 標準のユーティリティ「PC Exchange」が必要です。）その MO メディアが本製品で利用できる容量のものかどうかを確認してください。使用可能な MO メディアについては、「1.4 使用可能なメディアについて」をご参照ください。

M0メディアのイジェクトができない

アクセス表示ランプが点灯していないか確認してください。アクセス中はアクセスが終了するまでお待ちください。

ソフトウェアの中には、M0メディアのイジェクトを禁止するものがあります。現在使用中のソフトウェアを終了して試してください。上記の項目に当てはまらない場合、一度、本製品を再接続および電源の再投入を行なって試してください。それでもだめな場合は、本製品の電源を切って、付属のM0イジェクトツールを強制イジェクトホールに差し込み、強く押してください。



ご注意

本製品の電源がONの状態では、強制イジェクトは行なわないでください。

特定のソフトウェア（ディスク修復ツールなど）で M0メディアを使用できない。

一部のユーティリティソフトウェアでは、動作対象がハードディスクのみになっている場合があります。ソフトウェアメーカーに問い合わせ、そのソフトウェアがM0メディアを動作対象としているかどうかを確認してください。

一部のソフトウェアでは、動作中のディスク交換の問題などからインストール対象をハードディスクに限定している場合があります。ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

MOメディアのアクセス時にエラーが発生する。

MOメディアは汚れていませんか？ ディスク・クリーニングを行っててください。

MOメディアの不良も考えられます。別のディスクで試してください。これで問題がなければ、エラーが発生するMOメディアのデータをバックアップして、再フォーマットを行ってください。

MOメディアに書き込みができない。

MOメディアのライトプロテクト・ノッチがプロテクト側に設定されていませんか？

特定のメモリーカードをアクセスできない。

そのメモリーカードをフォーマットしたデジタルカメラ等に戻して、認識できるかどうかを確認してください。これで認識できない場合は、そのメモリーカードのフォーマットは壊れています。デジタルカメラなどで再フォーマットを行なってください。

そのメモリーカードが本製品で利用できる容量のものかどうかを確認してください。使用可能なMOメディアについては、「1 . 4 使用可能なメディアについて」をご参照ください。

特定のメモリーカードに書き込みだけができない。

メモリーカードの種類によっては、ライトプロテクト(書き込み禁止)の機能があります。書き込み禁止されていないかどうか確認してください。

本製品でフォーマットしたメモリーカードをデジタルカメラにセットしたが認識されない。

デジタルカメラでは基本的なフォーマットはパソコンと同じでも、特定のボリュームラベルやフォルダがないと認識されない場合があります。もっとも確実な方法は、そのデジタルカメラで再フォーマットを行なうことです。(再フォーマットを行なうと、そのメモリーカードに保存されたデータは失われますので必要に応じてバックアップを行なってください。)

WindowsMe で本製品を接続すると、パソコンがハングアップ状態（キーボードやマウスの操作をまったく受け付けない状態）になる。

本製品を接続しない状態でドライバのインストールを行ってから、本製品を接続してください。

Windows2000 で本製品を接続したときにメモリーカード側のドライバが認識されない

ドライバは正しい手順でインストールされていますか？本製品はドライバのインストールを行ってから接続しなければメモリーカード側のドライバが認識されません。

ドライバをインストールしないで接続した場合や、本製品接続後にドライバをインストールした場合は、以下の方法をお試しください。

デバイスマネージャ上で「USB(Universal Serial Bus)」を開き「大容量記憶装置デバイス」を削除してください。

本製品を取り外します。

まだ本製品のドライバをインストールしていない場合は、この後、「2.1 接続とインストール」の「2.1.4 Windows 2000 の場合」を参照して再度ドライバのインストールを行い、本製品を接続してください。

すでに本製品のドライバをインストールしている場合は、「2.1.4 Windows 2000 の場合」の手順以降をご参照ください。

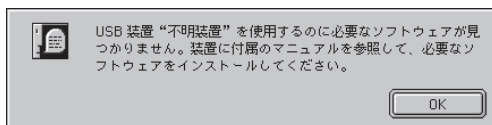
スリープ状態から復帰できない。

パソコンのスリープ（サスペンド）状態の処理方法により、このような現象が発生する場合があります。ご使用のパソコンによっては、パソコン本体メーカーから供給されるアップデートプログラム等によりこの現象を回避できる場合もあります。アップデートプログラム等が用意されていない場合は、スリープ（サスペンド）機能を OFF にしてご使用ください。

5.1 トラブルシューティング

5.1.1 パソコン接続時のトラブル

Macintosh シリーズで本製品を接続すると、以下のよう
なエラーメッセージが表示される。



本製品のドライバがインストールされていません。第4章にした
がって、ドライバのインストールを行ってから、本製品を接続し
てください。

データ転送速度が遅い

USB2.0 のポートに正しく接続されていますか。

USB1.1 のポートに接続されている場合、データの転送速度はFull-
Speed (最大理論値 12Mbps) までとなります。High-Speed (最大理
論値 480Mbps) で転送を行なうにはUSB2.0ポートにつなぎかえてく
ださい。

パソコン本体にUSB2.0 ポートがない場合は別売りのUSB2.0 イン
ターフェイスボード (PCI 用インターフェイスボード、もしくは
CardBus対応USB2.0インターフェースカード) を接続してドライバ
のインストールを行ってから、接続しなおしてみてください。

5.1.2 スタンドアロンモードでのトラブル

フォーマットモードでステータスランプ2 (M0) が点滅し
正常にフォーマットできない。

M0 メディアのライトプロテクト・ノッチがプロテクト側に設定さ
れていませんか？

そのM0 メディアが本製品で利用できる容量のものかどうかを確認
してください。使用可能なM0メディアについては、「1.4 使用
可能なメディアについて」をご参照ください。

そのM0メディアのフォーマット形式はFAT32、NTFS、HFSのいずれ
かではありませんか？本製品はスタンドアロンモードではFAT16の
メディアしか認識できません。

フォーマットモードでフォーマットした640MBのM0メディアにアクセスできない。

ご使用のOSはMac OS 9.0.4～9.2.2またはMac OS X 10.1.3～10.1.5ではありませんか？これらのOSからは本製品でフォーマットした640MBのM0メディアにアクセスすることはできません。540MB以下のメディアをご使用ください。

コピーモードでステータスランプ2（M0）が点滅しコピーに失敗する

セットされたM0メディアに問題があります。以下の点を確認してください。

- ・ライトプロテクト・ノッチがプロテクト側に設定されていないか。
- ・そのM0メディアの記録可能容量が、コピー元のメモリーカードのデータ容量より少なくないか。
- ・そのM0メディアのフォーマットがFAT16でないか、もしくは未フォーマットではないか。
- ・M0メディアが破損していないか。

コピーモードでステータスランプ3（CARD）が点滅しコピーに失敗する

セットされたメモリーカードに問題があります。以下の点を確認してください。

- ・そのメモリーカードのフォーマットがFAT16でないか、もしくは未フォーマットではないか。
- ・メモリーカードが破損していないか。

その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページには各種製品情報、サポート/お問い合わせに関するコーナーがありますので、ご活用ください。

ホームページアドレス：<http://konicaminolta.jp/>

5 . 2 保守とその他の注意事項

メディアのクリーニング

M0 メディアは1～3 カ月に1 回程度、市販のクリーニングキットを使用してクリーニングする必要があります。(使用環境 / 頻度によって異なりますので、エラーが多発する場合はもう少し頻繁にクリーニングしてください。)

レンズ・ヘッドのクリーニング

本製品内部のレンズ・ヘッドは3 カ月に1 回程度、別売のレンズクリーニングキットを使用してクリーニングする必要があります。(使用環境 / 頻度によってはもう少し頻繁にクリーニングした方がよい場合もあります。) クリーニングの方法についてはクリーニングキットの取扱説明書をご参照ください。

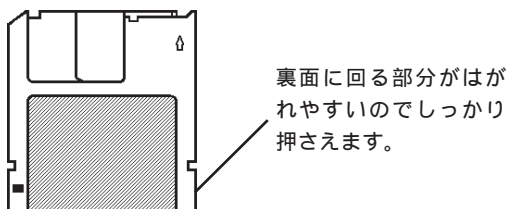
レンズクリーニングキット

(お問い合わせ先 : M0 ドライブサポートセンター)

M0 メディアのラベルについて

M0 メディアにラベルを貼付する場合は、必ず指定の位置に1 枚だけ貼ってください。また、貼った後ではがれないようにM0 メディアの両面をしっかりと押さえてください。(最近のラベルには再剥離可能なようにのりが弱いものもあります。そのようなラベルはできるだけ使用しないでください。)

不適切な位置に貼ったり、2 枚貼りするとM0 ユニット内部でラベルがはがれて、M0 メディアがイジェクトできなくなる恐れがあります。



斜線の部分からはみ出さないように貼ります。

ハードウェア仕様

機種名			MO- PR05150		
使用可能メディア *1			3. 5 型 MOメディア PCMCIA TYPE スロットに 接続可能なメモリーカード		
カード リーダー	搭載スロット		PCMCIA TYPE		
MO ドライブ	平均シークタイム		28 ms		
	キャッシュメモリ		2 MB		
	ディスク回転数 *2		5150 rpm 4900 rpm		
インターフェース			USB 2. 0 High- Speed (従来の USB 1. 1互換)		
コネクタ			USB シリーズ mini- B		
最大同期転送速度 *3			480 Mbps (High- Speed) 12 Mbps (Full-Speed)		
環境条件 *4	動作時	温度	10 ~ 35		
		相対湿度	20% ~ 80%		
	保管時	温度	- 10 ~ 50		
		相対湿度	20% ~ 85%		
入力電圧			AC100V ± 10% 50/ 60 Hz *5		
消費電力 (定格)			10 W *6		
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)			42 × 109 × 167 mm *7		
質量			720 g *8		

^{*1} 対応メディアについては「1. 4 使用可能なメディアについて」を参照

^{*2} 128MB/230MB メディア使用時は5150 rpm
540MB/640MB メディア使用時は4900rpm

^{*3} 理論値

^{*4} ただし結露なきこと

^{*5} AC アダプタ

^{*6} AC アダプタ含む

^{*7} 縦置き時，突起部を除く。

^{*8} 本体のみ

MEMO

保証とアフターサービスについて

修理・お取り扱い・お手入れのご相談は... まず、お買い上げ店へお申し付けください。

保証書（添付）

お買い上げ店からお受け取りの際は、お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずご確認ください。保証書は、よくお読みになったあと保存してください。

保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

修理を依頼されるときは

本ユーザーズマニュアルに記載されている、「5.1 トラブルシューティング」に従ってご確認のあと直らないときは、接続している電源を外してからお買い上げ店へご連絡ください。

注）修理品をご持参・お持ち帰りの際の交通費、または、ご送付される場合の送料および緒掛かりは、お客様のご負担とさせていただきます。なお、ご送付の場合は、適切な梱包の上、紛失防止のため、受け渡しの確認のできる手段（簡易書留や宅配便）をご利用ください。

保障期間中は

万一、保障期間中に故障した場合は、保証書を添え、当社、修理受付、または、お買い上げ店にお申し出ください。保証期間の範囲内で無料修理をいたします。

注）使用上の誤り、当社以外での修理・改造・分解による故障や保管上の不備による故障は保証の対象になりません。また、砂泥かぶり、浸・冠水、衝撃、落下、火災などの事故による故障は保証の対象にならないだけでなく、著しく損傷したものは殆ど機能の修復は望めません。修理が可能かどうかの判定は、当社、修理受付にご相談ください。

本製品の補修用性能部品（製品維持するために必要な部品）は、生産終了後5年間を目安に保有し、本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後でも修理可能な場合がありますので、当社、修理受付、または、お買い上げ店にご相談ください。

保証期間を過ぎた後の修理は、有料となります。また、その際の修理品の運賃など緒掛かりは、お客様のご負担とさせていただきます。

お問い合わせについて

弊社ではお客さまからのお問い合わせ窓口を用意しています。製品に対する技術的な質問、ユーザーズマニュアルに対する質問等は、弊社MOドライブサポートセンターまでお問い合わせください。なお、回線が混み合いご迷惑をおかけすることもございますので、そのような時には、FAXまたはお手紙にてお願い致します。その際、下記 ~ の内容をご記入ください。特にご連絡先の電話番号は必ずご記入ください。

お名前、住所、電話番号

保証書に記載された機種名、シリアルNo.

故障の状態、接続構成、使用ソフトウェア（なるべく詳しく）

ご注意： 文章でお問い合わせをいただく場合には、必ず電話番号 / FAX 番号をご記入ください。

お問い合わせ先

MOドライブサポートセンター

〒191-0003 東京都日野市日野台 5-22-17 TEL 042-587-0733 FAX 042-587-2184

営業時間：月～金 AM10:00～PM17:00 休日：土、日、祝日、その他休業日（年末、年始、夏期休業）

修理受付

株式会社コニカサービス 産業機材T

〒191-0003 東京都日野市日野台 5-22-17 TEL 042-584-7501 FAX 042-584-7556

営業時間：月～金 AM9:00～PM 17:25 休日：土、日、祝日、その他休業日（年末、年始、夏期休業）

お問い合わせ、修理依頼の際は番号をよく確認して、上記の番号へおかけください。

MO&カードリーダー / ライターユニット・ユーザーズマニュアル

2003年 10月初版 RVA209524-000

製造元：コニカミノルタオプト株式会社

所在地：〒192-8505 東京都八王子市石川町 2970

コニカミルタ オプト株式会社